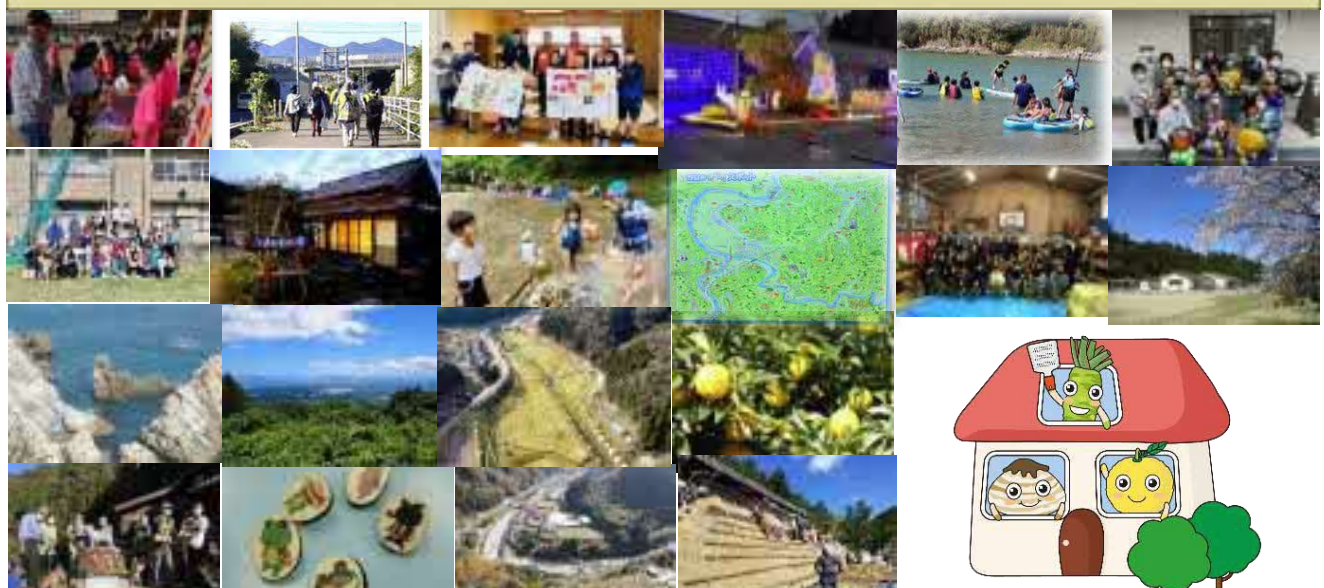


令和4年度 益田市 20地区取組状況

20地区の取組を
まるごと紹介！



益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

島根県益田市益田地区

地域づくりのテーマ:『ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち』



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末時点)

28自治会 2,758世帯 人口5,754人 高齢化率34.0%

【地区の魅力】

益田地区は、中世鎌倉時代から戦国時代まで益田氏の城下町として栄え、歴史・文化遺産の多い地区で「七尾城跡」「三宅御土居」や名勝雪舟庭園2カ所を含めた12の日本遺産構成文化財がある。また、警察署や県合同庁舎などの公的機関があるほか、高等学校が3校、高等看護学院がある文教地区でもあります。

【地区の課題】

- 人口減少及び高齢化
- 商店の減少
- 自治会役員の担い手不足、伝統行事の後継者不足
- 地区の歴史・文化に対する認識不足

②実施団体の概要

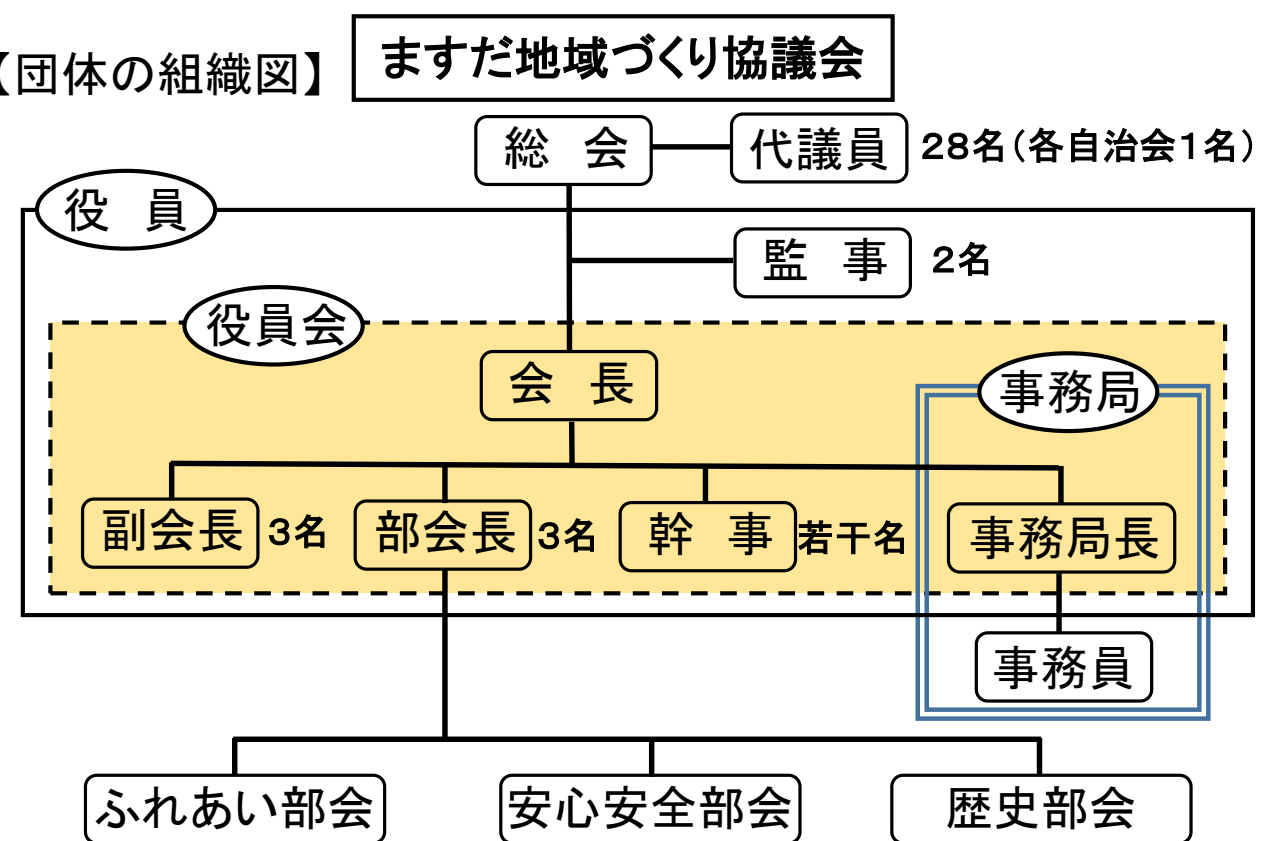
【団体の名称】

ますだ地域づくり協議会(R01.09.01設立)

【役員・部会員選出団体等】

- 益田地区自治会連合会
- 益田地区社会福祉協議会
- 益田地区民生児童委員協議会
- 益田商店会
- 益田小学校PTA
- 益田東中学校PTA
- 益田地区老人クラブ連合会
- 益田地区つろうて子育て協議会
- 生き生き益田の会
- 消防団益田第1分団
- 益田地区食生活改善推進協議会
- 地区住民

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

- 歴史部会
歴史を学び、守り、伝える活動
歴史イベント、祭り、文化を若い世代に繋げる活動
- ふれあい部会
ふれあいの場の設定
福祉活動に関わる人の輪を広げる
- 安心安全部会
自主防災を設立し、災害時の体制づくりを図る
各自治会における高齢者見守り活動を充実させ、促進する



【団体長メッセージ】 本年度コロナ禍の中、各部会において工夫を凝らし事業展開をしてまいりました。歴史部会は、第2回日本遺産スタンプラリーを実施いたしました。益田地区日本歴史遺産指定施設を巡り、益田東中学校1年生の生徒には、地元の魅力を改めて感じていただけたと思います。ふれあい部会は、令和3年度より益小プロジェクトを実施し、住民の皆さんに役立つ内容を目指しています。安心安全部会は、自主防災に対する行動を考え、災害避難の在り方についても検討しています。また、新しくなった「歴史文化交流館」の活用も考えてまいります。

ますだ地域づくり協議会 会長 右田 明

島根県益田市益田地区

⑤こんなことが話し合われています



役員会

役員会は各部会の活動報告、部会間の調整、最終的な意思決定の場として機能している。



ふれあい部会

インターネットを活用した情報発信や勉強会を行っている。
昨年から担当している「益小プロジェクト」や移動手段、ふれあい食堂について話し合いを行っている。



歴史部会

日本遺産の整備事業や活用方法などについての検討、見直し。
昨年行った「日本遺産認定記念スタンプラリー」について協議し、準備などを行う。



安心安全部会

自主防災組織設立の必要性や災害時の体制づくりなど協議し、講師の方を招いて「自主防災勉強会」を企画、開催を行う。

⑥こんな地域づくりを行なっています



自主防災勉強会

今年度安心安全部会では、8月24日（水）と11月18日（金）の計2回NPO法人防災支援センター代表の桂木正則さんに講師をお願いし、各自治会長を対象とした自主防災組織設立へ向けての勉強会を行った。

第2回日本遺産スタンプラリー

昨年度から地域自治組織と益田東中学校が協働し開催している。イベント前には、ポスターを作り各自治会へ掲示してもらい、当日は中学1年生全員（74名）がスタッフとして参画し、歴史部会を中心に地区内の団体や個人と一緒に活動した。

益小プロジェクト

益田小学校6年生有志が大人と一緒に活動する「益田地区をもっと幸せにしようプロジェクト」今年度は〈お祭り〉をテーマに自分たちで考え、クッキング、消しゴムハンコ、ゲームのチームに分かれ、準備、接客なども大人の手を借り、自分達で行った。

お問い合わせ先

〒698-0005
益田市本町6番8号

ますだ地域づくり協議会（益田公民館内）
Tel. Fax 23-5752（益田公民館）
URL: <https://www.masuda-tiikidukuri.com/>



島根県益田市吉田地区

地域づくりのテーマ：元気いっぱいひとがつながるまち吉田



①地区の概要

【地域の現況】（令和5年1月末時点）

人口13,969人、高齢化率31.6%、世帯数6,644世帯

人口、世帯数、自治会数、いずれも益田で一番多い地区です。予測では、将来もほぼ同じ人口と高齢化率が維持されます。

【地区の魅力】

益田市役所本庁をはじめ各種行政機関や金融機関、益田赤十字病院や個人医療機関、文化施設や小中学校、商店街や個人商店が多くあり、生活するうえで利便性の高い地区です。

また、高津川、益田川、日本海に面しており、自然との共存もできています。

【地区の課題】

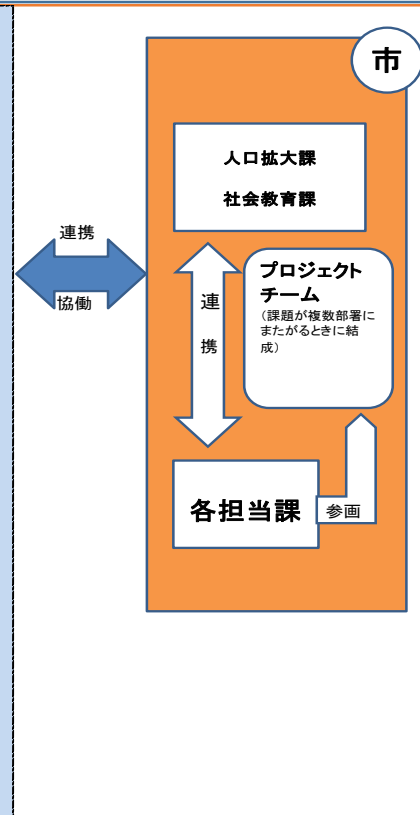
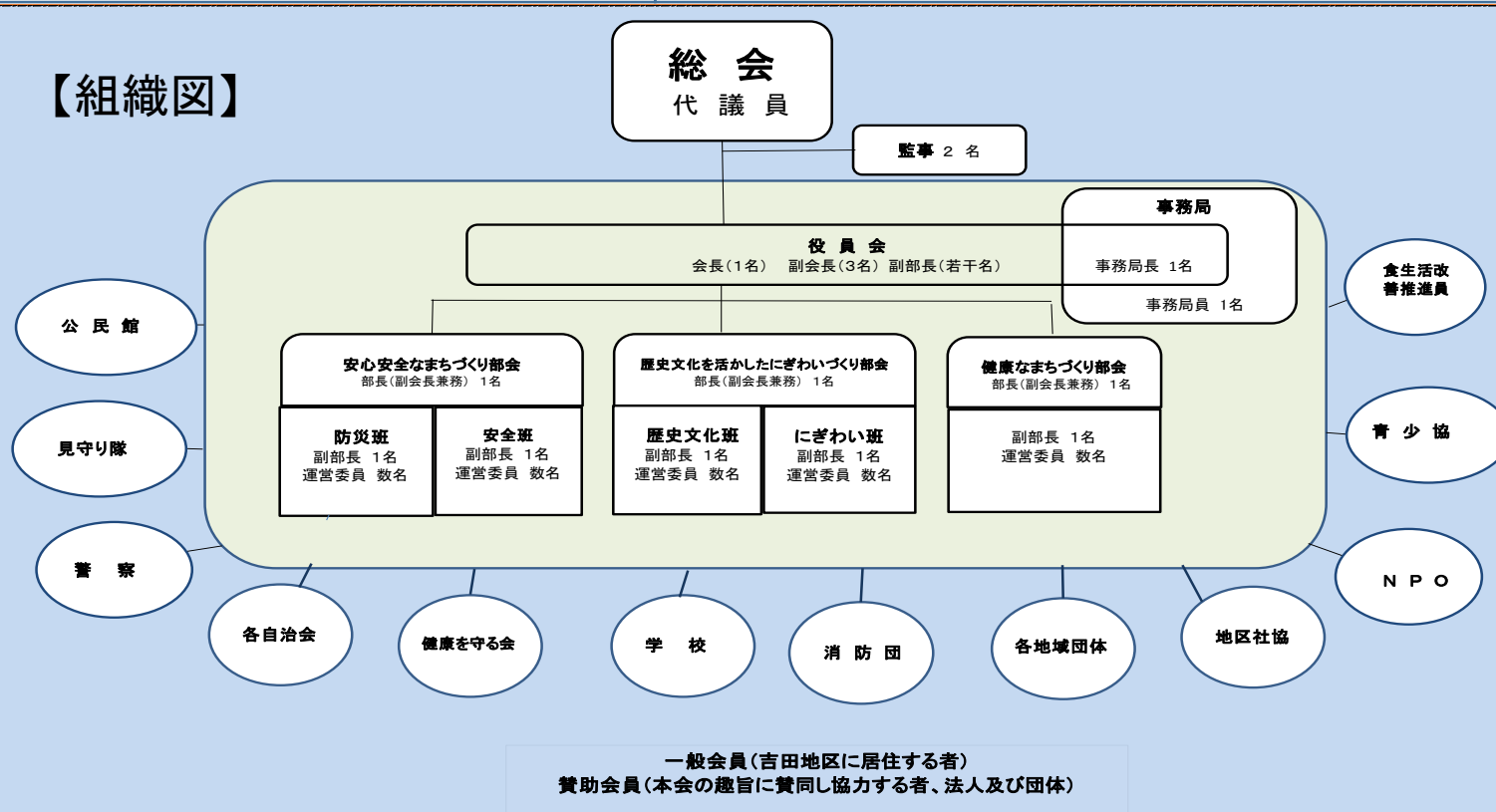
吉田地区は、昨今の異常気象の影響による二つの川の氾濫が心配されます。また、交通量が多く、通学路にも危険な箇所があります。その他、アパート・マンション等の増加や核家族化により、隣人関係が希薄化しているので、地縁による地域運営が難しくなっています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「吉田地区自治協議会」

【組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

安心安全なまちづくり部会(防災班)では、防災力の強化に取り組んでいます。「吉田地区防災協議会」の開催や、自治会の防災訓練を支援します。

同部会(安全班)では、子どもたちが安全に登下校できるように見守り活動の支援と、通学路の危険個所の改善に取り組んでいます。

健康なまちづくり部会では、運動する環境を整える取り組みをしており、健康ウォーキングや健康教室を開催しています。

歴史文化を活かしたにぎわいづくり部会(歴史文化班)では、地域の歴史を学ぶ「歴史茶話会」を開催しています。本年度は吉田地区に点在する古墳やその時代について学びました。

同部会(にぎわい班)では、にぎわいとつながりづくりに取り組んでいます。本年度は子供たちが日頃頑張っていることを発表するイベント「チャレンジフェス！」を開催しました。

【団体長メッセージ】

吉田地区自治協議会設立2年目です。安全・安心なまちづくり、健康なまちづくり、歴史・文化を活かしたまちづくりの3部会で取り組んだ活動を報告いたします。まだまだ不十分ですが、今後も魅力あるまちづくりに向け取り組みます。ご意見を頂ければと思います。



令和4年度 吉田地区自治協議会活動報告

こんなことが話し合われています

【被災時の避難について】



第1回吉田地区防災協議会
環境が似ている自治会ごとに分かれて、避難について考えました。避難のタイミングや一時避難所の設営、高齢者避難などについて意見交換を行いました。

【通学路の見守り活動】



安全班では、通学時の見守りイベント「吉田の見守りEye(眼・愛)」を企画しました。学校や見守り活動団体、自治会が集まり、実施について意見交換しました。

【益田川の氾濫と内水について】



第2回吉田地区防災協議会
益田川流域の施設を視察し、川の氾濫にいたる経緯と内水氾濫の発生について学び、被害を最小限に抑える手立てについて協議しました。

【子供たちのチャレンジを支援】



コロナ禍で少なくなった子供たちの発表の場を作ろうと、にぎわい班で「チャレンジフェス！」を企画しました。中学生を含む有志が集まり意見交換しました。

こんな地域づくりを行なっています



防災訓練支援

防災班では、消防団・防災士会・益田市社会福祉協議会と協力し、希望する自治会の防災訓練を支援しています。本年度は、中吉田自治会の防災訓練「避難を考える」を支援しました。



健康ウォーキングの開催

健康なまちづくり部会では、春と秋に「健康ウォーキング」を開催。「中須・大塚・かもしま・中島コース」と「久城コース」を歩きました。途中、文化財課職員より史跡の説明を聞きました。



チャレンジフェス開催

にぎわい班では、「チャレンジフェス！」を開催し、子どもたちのチャレンジを応援しました。子供たちは演技発表だけでなく、ポスター制作から司会、告知放送まで担当しました。当日は観覧者も含め100名以上が集まりました。



通学路見守り活動支援

安全班では、「吉田の見守りEye(眼・愛)」として、通学路見守り活動を行いました。

10月13日、各団体より有志約250名が参加し、通学路の危険な箇所で見守りました。



健康教室の開催

健康なまちづくり部会では、健康教室「リズム遊び」を2回開催し、延40名が参加しました。エレクトーン演奏に合わせて体を動かしたり、打楽器で簡単な演奏をしました。小さな子供から高齢者まで一緒に楽しみました。



歴史茶話会開催

歴史文化班では、毎月「歴史茶話会」を開催し、古墳や埴輪をとらして当時の暮らしについて学びました。特に本年は「スクモ塚古墳」が県内最大の前方後円墳であるとの嬉しい発表があり、参加者一同喜びました。



名称: 吉田地区自治協議会
住所: 〒698-0033 益田市元町11-26 吉田公民館内
電話: 080-8040-2060



HP: <http://yoshidajichi.com>
Mail: yoshidajichi@kba.biglobe.ne.jp



島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ：高津っ子の住みよいまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

人口7,897人、高齢化率37.7%、世帯数3,827世帯
山・川・海に囲まれた自然豊かな地区です。

【地区の魅力】

自然豊かでありながらも、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

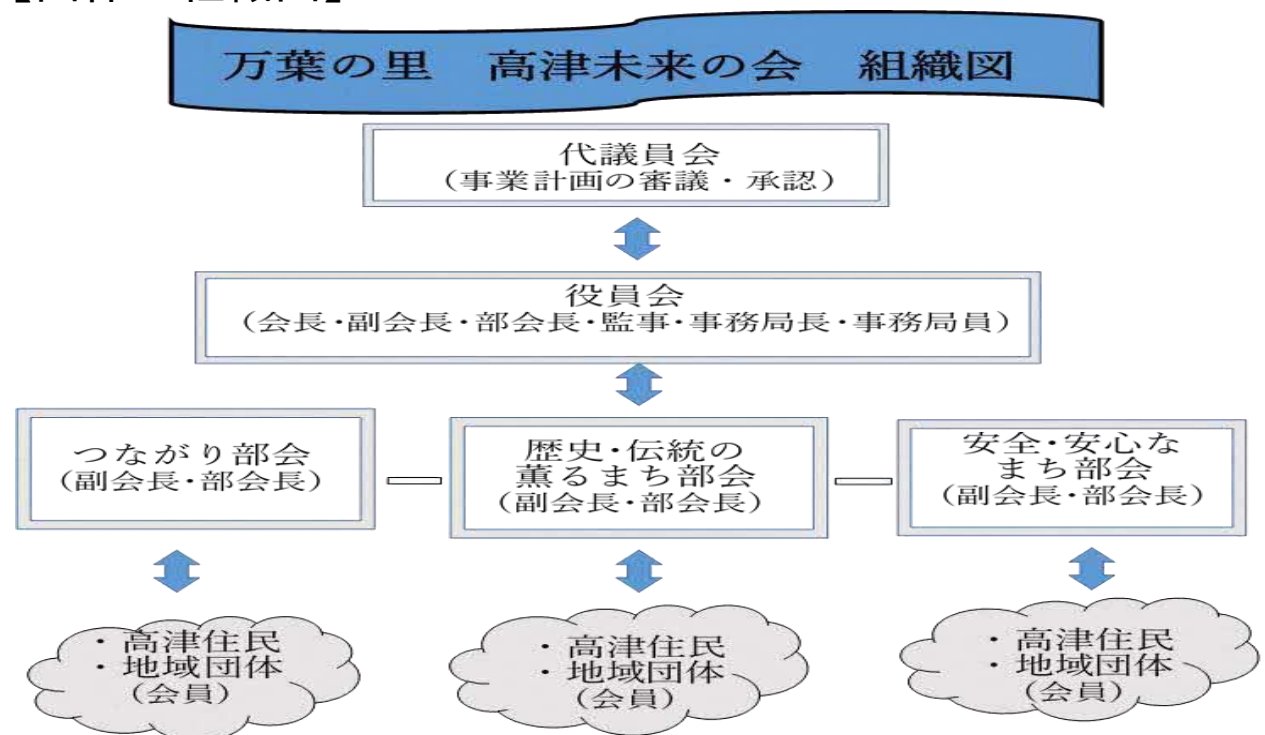
【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員4名
- ・役員（会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名）

「ロゴマーク」



【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆会報を発行し地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラム・フェイスブック・告知端末放送を活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている。

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ。

☆小・中・高生が和太鼓で地域に元気を与えた。

☆地域に埋もれた歴史的文化遺産等の発掘・見える化。

☆益田市と島根県立大学との共同研究によって地域の歴史・伝統文化（ひと・もの・こと）をデジタル化し、記録保存しSNSで公開。

【会長よりメッセージ】

発足2年目、今年度もコロナ禍も相まって思うにまかせない状況下ではあったが、出来ることから活動をし進めてきました。併せて地域等への情報発信等も行う中で、少しずつではあるが活動等認知されてきたように感じます。

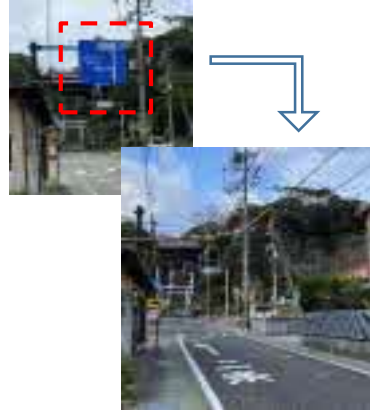


島根県益田市高津地区

⑤こんなことが話し合われています

	○役員会を8回行いました。(2月末現在) ○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した。		○高津小学校6年生の授業で林会長が万葉の里高津未来の会の活動や、思いを話した。 (6年国語科「町の幸福論」学習)
	○柿本人麿にまつわるバスツアーの中で昨年度、まちづくり活動特別補助金を活用し、石臼の改修工事と案内板設置をおこなった高津蠟座石臼の設置場所を見学し、現地説明が行われた。		○歴史伝統文化の薫るまち部会 × 県 大 県立大学との共同研究によってホーランエー等をデジタル化。成果物をSNSで公開。小学校の授業にも取り入れられ、実際に活用された。

⑥こんな地域づくりを行なっています

<u>JR線長者原踏切周辺の 除草作業をJRに要望</u> 	<u>高津柿本神社前の 案内標識撤去について要望</u>  柿本神社や門前町の景観 の妨げとなっている道路 標識の看板撤去の要望を 行い、その後撤去された。	<u>まちづくり活動特別補助金審査会</u>  柿本人麿の 終焉伝承を 継承する事業
<u>小学校裏の 通学路の 危険箇所に 看板設置</u> 	<u>ふるさと教育デジタルアーカイブ事業</u> × 県 大  (ホーランエー撮影)  (高津餅つき音頭撮影)  (SNSにて公開中)	<u>登下校の見守り</u>  毎日の見守りの様子 (歩道が設置された松ヶ丘浜寄線)
<u>和太鼓事業 (高津公民館共催)</u>  ・金刀比羅神社(浜地区) ・萩石見空港マラソンのスタート前にて披露 小・中・高の若者パワーで 地域を元気に！ 	<u>万葉の里ひとまるフェスタにおける 「ひとまるつながりマルシェ」を実施</u>   	

お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会
住所: 〒698-0041
島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に情報発信しています。



島根県益田市安田地区

地域づくりのテーマ:「みんなでつくる楽しい安田」



安田公民館年末年始のイルミネーション

①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

人口 3,470人、高齢化率 40.0%、世帯数 1,578世帯
益田市内での高齢化率は吉田、益田、高津、豊川に次いで5番目に低い地域ですが、年々高齢化率が上昇しています。

【地区の魅力】

「地域お助け隊事業」は草刈、剪定、伐採など地域の困り事を有償で支援し、「パンカフェ運営事業」は石見津田駅で「駅パンくるくる」を運営し地域を活性化しています。津田、井の迫地区では毎月二回地区内のスーパーでの買物支援を行っています。

【地区の課題】

高齢化と核家族化が進み日々の買い物や通院が困難な世帯が増え、各種扶助制度確立が急務です。又、空き家も増えていますが、残留家財の整理が出来ずそのままになっている建物がほとんどで、貸家を探している人はいても売却も賃貸も進んでいません。

②実施団体の概要

【団体の名称】

一般社団法人安田地域づくり協議会

【構成団体、構成員】

安田地区連合自治会、安田公民館
市議会議員

農業委員会、土地改良区安田支部

安田地区健康と福祉をすすめる会

安田地区社会福祉協議会

JA、つろうて子育て協議会

安田婦人会、安田ボランティア協議会

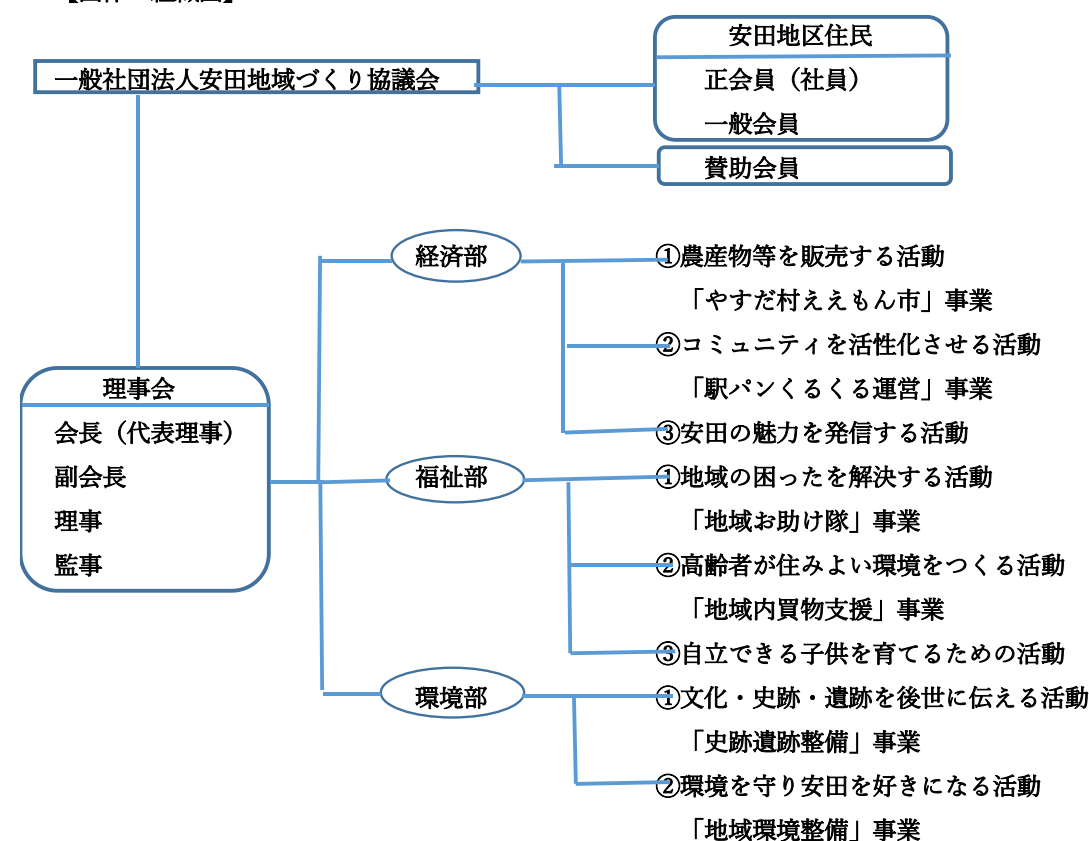
安田地区老人クラブ連合会

消防団安田分団

オヤジーズ

個人(地域住民)など

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組(概要)

1. やすだ村ええもん市事業

安田地区で生産された農作物、手作り品などの販売を通して農作物の生産、加工、独自商品の開発などを行い地域住民の生産意欲を高めるとともに地域活性化を図ります。

2. パンカフェ運営で地域のコミュニティの活性化を図ります。

3. 地域お助け隊事業

地域住民に代わって有償で草刈り作業などを行い、安心して暮らせる環境づくりと所得向上、働き甲斐づくりに繋がります。

4. 地域内買物支援事業

福祉施設の車を利用して、移動手段を持たない高齢者のスーパーでの買物支援を実施します。

5. 史跡・遺跡整備事業

旧山陰道の整備を行い、歴史の伝承に取組み保存してきた先駆者の業績を周知し、地域の方に誇りと感心を持たせます。

6. 地域環境整備事業

地域の環境美化を進め、明るく快適に過ごせる環境を創ります。

【団体長メッセージ】

第1期(平成29年度～令和3年度)地域づくり計画では地域内の人、自然、産物、加工品等の社会資源を活用して事業を展開してきた。協議会通信、端末放送等による広報活動で住民の意識変化も起こり、卓越したマネジメント成果も確認された。今年度からの第2期(令和4年度～8年度)地域づくり計画では「みんなでつくる楽しい安田」を策定し、培ってきた人脈と自信と希望を抱きつつ、一致団結し求められる事業推進へ向けて意欲を漲らせている。



島根県益田市安田地区

⑤こんなことが話し合われています



(一社)安田地域づくり協議会総会
令和4年6月8日(水)出席者:34名
・令和3年度の実績及び決算報告、
監査報告
・理事の選任
・令和4年度の事業計画及び予算
・まちづくり活動5ヵ年計画の承認



(一社)安田地域づくり協議会
臨時役員会
令和4年11月1日(月)出席者:11名
・今年度中間決算の概要報告
・後期の事業予定について
「ええもん市」「防災を考える日」「イル
ミネーション設置」「通学路改良要望」



石見津田駅で毎月一回開催する土
曜朝市に県大生4名が参加し販売係
を担当してくださいました。
・令和4年4月23日(土)午前中
・令和4年6月25日(土)午前中



石見津田駅ホーム側に掲示板設置
令和4年8月18日(木)
・東陽中学校テニス部と吹奏楽部の
生徒さんが巨大ポスター掲示板4枚
の下地作りから塗装仕上げ、ポス
ター4枚の作製まで手伝って下さって
所定の場所に設置しました。

⑥こんな地域づくりを行なっています



①「やすだ村ええもん市」事業
新型コロナウイルス蔓延防止のためすべて
中止。その代わり石見津田駅で野菜市開催
《開催日》毎月第四土曜日の10:30~12:00
7月、8月、12月を除いて開催しました。

②「地域お助け隊」事業
・草刈・庭木剪定・伐採・墓地清掃他の請負
・4月~12月受注件数:126件
・登録作業員:男性17名、女性5名

③「史跡・遺跡整備」事業
・旧山陰道・丸山公園の草刈作業
・年二回実施:6/26 参加者:35名
10/16 参加者:36名



④「パンカフェ運営」事業
石見津田駅のパンカフェは、新たな事業者
により令和4年2月23日(水)から「駅パンく
るくる」として営業を再開しています。

《営業品目》
「ご褒美食パン2斤」「シンプル食パン1斤」
6種のロールパン(プレーン、チーズ、コーン、
チョコ、レーズン、ウィンナー)至福のあんぱん、
焼きカレーパン、つぶつぶ栗あんぱん

⑤「地域内買物支援」事業
福祉施設の車を利用して、移動手段を持た
ない津田地区他の高齢者などを連れて、地
域内のスーパーでの買物を支援(月二回)し
ています。

お問い合わせ先

〒699-3676
益田市遠田町384番地2
一般社団法人安田地域づくり協議会
TEL(FAX兼用) 0856-27-0001



島根県益田市鎌手地区

地域づくりのテーマ：地域資源を活かし「住みよい」鎌手



①地区の概要

【地区の現況】 令和5年1月末時点
世帯数：660世帯
人口：1,393人
高齢化率：48.9%

【地区の魅力】

丘一面に水仙が咲き誇る「唐音水仙公園」、その近くにある国指定天然記念物「唐音の蛇岩」、夕日の映える大浜海岸等、自然の魅力あふれるこの地域は、春夏秋冬それぞれに美しい景観を1年を通して楽しめる地域資源に恵まれた地区です。

【地区の課題】

他の中山間地域と同様、少子高齢化と人口の減少により各地区の行事や地域で行っている草刈りなどの環境整備事業の担い手不足が問題となっています。

②実施団体の概要

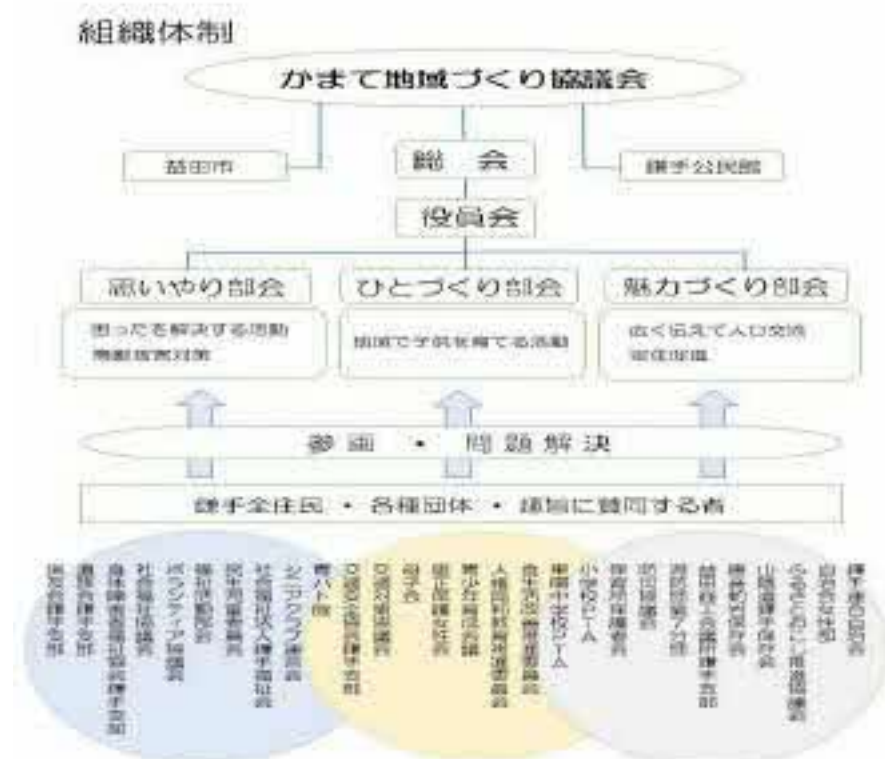
【団体の名称】

かまて地域づくり協議会

【構成団体、構成員】

- ・代議員 26名
- ・役員 9名
(会長1名、副会長2名、会計1名、部会長3名、監査2名)
- ・部会員
 - 思いやり部会 49名
 - ひとづくり部会 9名
 - 魅力づくり部会 28名

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

◆地域の困ったを助ける取り組み

- ・お助け隊による活動(草刈り、伐採、墓掃除等)
- ・買物支援バスの運行(2回/月)

◆子どもたちが笑顔で成長できる取り組み

- ・マナビーヤ
- ・U-15かまてミーティング

◆かまての魅力を発信し定住促進につなげる取り組み

- ・SNSによる情報発信
- ・「coffee work shop」や「SUP体験」による交流人口の拡大



【団体長メッセージ】

設立3年になりました。新型コロナ禍で行動規制の中ですが、「思いやり・ひとづくり・魅力づくり3部会」の活動は、地道で着実な取り組みにより、地域住民の参画も多くなってまいりました。更に情報の発信を工夫して部会員の募集と若い世代への組織移行を行い、市・連携のまちづくり推進課・社協や小中学校また地区団体との連携(協働)により、「住みよい」鎌手を目指します。

島根県益田市鎌手地区

⑤こんなことが話し合われています



〔役員会〕
協議会の運営についての進捗状況の確認。各部会の活動状況の報告や問題点の確認などを行っています。



〔思いやり部会〕
移動困难的者の支援を考える会は、今年度買い物支援バスの月2回午後の運用を開始しました。次年度、午前の正式運用を始めるため、試験運用の取り組み方、利用者の募集方法を協議しました。



〔魅力づくり部会〕
「coffee work shop」の出店計画、SUP体験の活動日程、かまて魅力マップ作成状況等の各チームの進捗状況の報告を行いフォローしています。



〔ひとづくり部会〕
「益田市民吹奏楽団」の演奏会や、U15カマテミーティング、マナビーヤについて話し合いました。またコロナ拡大で延期した中学生主体の祭りの開催日や準備日程を検討しました。

⑥こんな地域づくりを行なっています

〔思いやり部会〕

移動困难的者の支援を考える会では、買い物支援バスの定期運行を開始しました。月2回ラポやキヌヤへ赴き、利用者からは「大変助かっています。」「買物が出来るのが楽しいです。」等の言葉をいただき今後も活動を継続して行きます。



お助け隊は今年も精力的に地域内の草刈りや庭木の伐採、墓掃除等いろいろな依頼を受け、活動してきました。今年度は100件を超える依頼が有り、地域に浸透してきたと思います。



〔ひとづくり部会〕

初めての取り組みとして、「益田市民吹奏楽団」の演奏会を企画、鎌手小学校体育館にて開催しました。あいにくの天気の中、50名を超える地区の皆さんが来場してくれました。



本年度夏に予定していた東陽中学生が主体となって進めていて延期となった夏祭りを12月3日に「灯陽フェス」として開催しました。鎌手地区だけでなく安田地区の子どもも参加して賑わいました。



〔魅力づくり部会〕

「coffee work shop」は前年に続きコーヒーによる鎌手の魅力を発信すると共に鎌手地区の方に活動を知ってもらう為「かまカフェ」として鎌手6地区の集会所などで交流を実施。日頃出会う機会の無い方との交流が出来ました。



鎌手の海の良さを体験してもらうSUP体験を本年も実施。対象を鎌手地区の子ども達にも広げ参加した子ども達は楽しい思い出が出来たと思います。



お問い合わせ先

住所 〒699-3506
益田市西平原町751-7
かまて地域づくり協議会(益田市鎌手公民館内)
TEL 0856-27-0501
Mail csc-kamate@city.masuda.lg.jp

鎌手公民館



魅力づくり部会



島根県益田市種地区

地域づくりのテーマ：地域の特性と自然を生かし、“ひとつの輪”になった「むらづくり」



①地区の概要

【地区の現況】

人口・高齢化率・世帯数(令和5年1月末時点)

人口:234人 高齢化率:49.1% 世帯数:107世帯

【地区の魅力】

・中山間地域に位置し、伝統芸能の種神楽と自然を活用(さくら・あじさい・ホタル)したイベントを開催し、人との交流が盛んな地区です。

・小学校の跡地利用と、未耕作地の解消を図り、農産加工品の製造販売により、活性化している地区です。

・種出身者に「種だより」と「ふるさと便」を発送しています。

【地区の課題】

・人口減少・少子高齢化
・後継者、担い手不足
・鳥獣害対策
・高齢者、子ども支援

・耕作放棄地の増加
・小学校の跡地有効利用
・空き家対策

②実施団体の概要

【団体の名称】

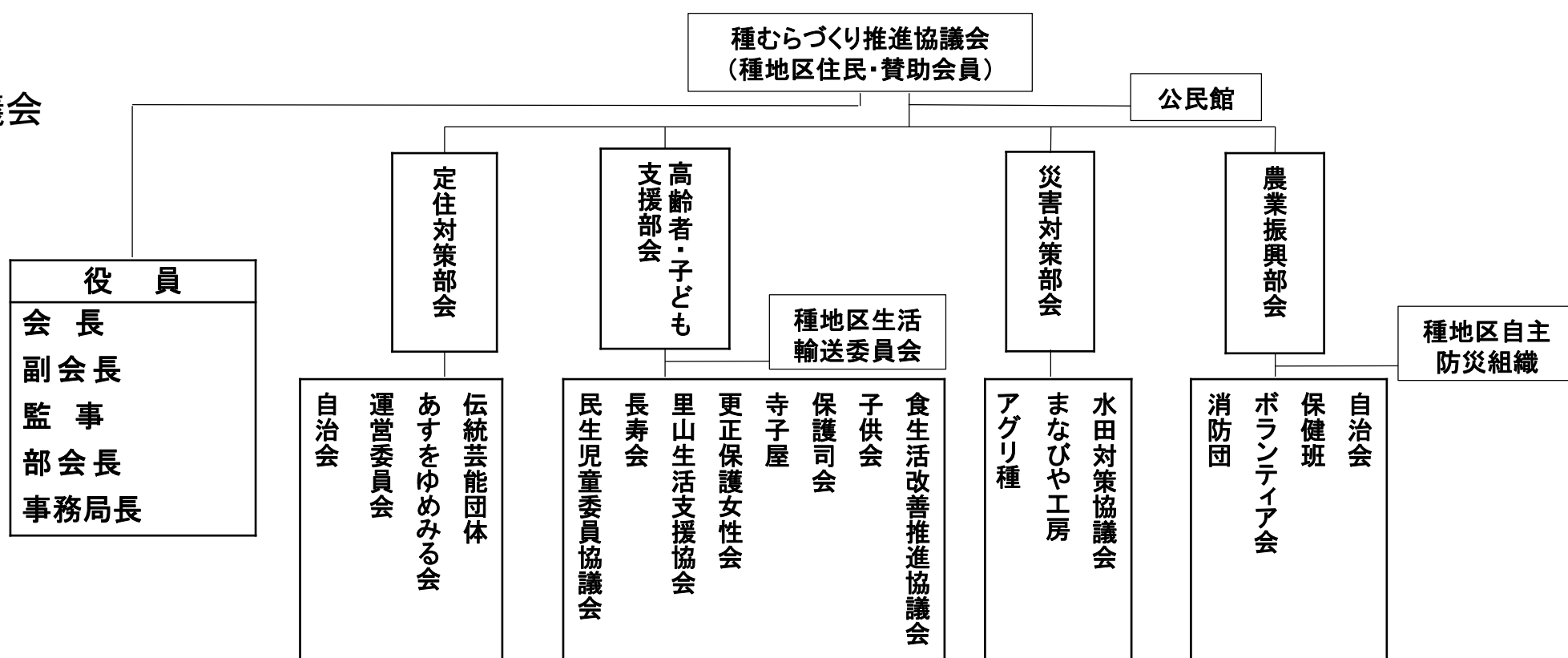
種むらづくり推進協議会

【構成団体、構成員】

右図参照

【団体の組織図】

右図参照



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料:島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組(概要)

- * 都市部(地区出身者)へ地域の魅力を発信(facebook、種だより、ふるさと便等)
- * 伝統芸能(石見神楽)を活かした交流人口の拡大
- * 運動会等行事へのふるさと選手の参加要請
- * 担い手を育成する為、関係人口拡大を目指す
- * 自転車全国大会が開催される場合は支援と関係人口、交流人口の拡大協力
- * 農産加工品の商品開発と販路拡大
- * 農業法人による未耕作地の解消と新規作物の開拓
- * 種ひだまり茶屋(サロン)を利用した拠点づくり
- * 空き家を利活用した、関係人口受入体制づくり
- * アグリ種との連携で、都市部からの農業体験からの交流人口増加を図る
- * 訪問型サービスD、通所型サービスBによる高齢者支援を拡大させている



【団体長メッセージ】

コロナ過で色々な行事が中止となる中、「高齢者サロン」の開催や市内の高校生との交流など実施できる事から取り組んできました。これからも地区の課題向き合うと共に、出来なかった行事を復活させる事が地域づくりのテーマにつながっていると思っています。

種公民館



島根県益田市種地区

⑤こんなことが話し合われています。



<農業振興>

- ・ 耕作放棄地が増加していき、比例して農業者が減っている問題を地区でどうするか？を話し合っています。
- ・ 外部団体との連携も模索し、関係・交流人口の取り組みを取り入れ、補助金等をもらいながら農業者育成に努める。



<災害対策>

- ・ 昨年度から大学の先生に有識者からの視点で種地区へ入ってもらいフィールド調査をしてきた事を今度は地元サイドで話し合い、地区に沿ったハザードマップを作り上げる流れを話し合います。
- ・ ドローンを導入し、空撮で避難経路を探す。



<高齢者・子ども支援>

- ・ 介護予防・日常生活総合事業訪問型サービスDの現状と問題点
- ・ 通所型サービスBについての取組み
- ・ 通院や買い物の要望などと地区ボランティア運転手の予定など調整



<定住対策>

- ・ 近年、空き家が増加している事を踏まえ、地域住民らで問題と解決を話し合い、問題定義された点を少しずつ解決の話し合いを進める。
- ・ 外部団体のリノベーション事業者とタイアップし、民泊制度も視野に勉強していく。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



自治組織内の農業振興部会「アグリ種」では、種まなびや工房にて種地区で収穫されたもち米を使用し、杵つき餅の販売をしています。

市内ではキヌヤさんのご協力の元、店頭販売を行い、商品のPRだけではなく、種地区の紹介もし、幅広く情報を広げています。そして、年末には種だよりを種出身者に配送している為、同封し正月の鏡餅なども注文を受け、全国発送にも展開している。

今では、毎年注文されるリピーター客も増えたり、市内の方々へもアグリ種のお餅などが浸透し始めている。

高齢者・子ども支援の取り組みは、各地区でも種地区は先進だと声が聞こえる。毎月毎週水曜日午後には、「高齢者サロン」を開催し、メニューも様々な事を取り入れ、100歳体操だけでない地区住民が「義務」でない参加型のサロンを提供している。今年度でB事業、D事業共に2年目を経過した。「継続は力なり」ではないが、徐々に浸透し始め、地区住民へこえが広がりつつあり、参加者も今では多いときは20人を超える。陽だまり茶屋で講演や体操するだけでなく、市外へ遠足に行ったり、食事に行ったり、地元高校生や保育園児らとふれあいをしたりと様々な企画で楽しんでいる。

定住に向けての対策は直接は関係ないかもしれませんが、種地区で毎年収穫している麦栽培を関係した定住・移住対策です。関係・交流人口の事業の一つで麦刈り作業を一緒に手伝ってもらうことから種地区を都市部の方々へアナウンスし、「また来てもらう」といった人数は少ないですが、地道な取り組みをしています。



【地域自治組織の所在地】

〒699-3503
島根県益田市下種町1179-1
種むらづくり推進協議会(益田市種公民館内)
TEL:0856-27-1008 (FAX兼)

お問い合わせ先

種公民館



島根県益田市北仙道地区

地域づくりのテーマ：『みんなが参加する、ひとづくりを通した、ワクワク感を大切にしたい、まちづくり』



①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

- ・人口：405人、世帯数：182世帯、高齢化率：51.4%、
- ・総面積15.53km²

【地区の魅力】

- ・海は無くても自然豊かな環境にありながら、市街地までは車で10分、萩・石見空港も30分の立地条件の良い地域。
- ・益田十景にも選ばれている比礼振（ひれふり）山（別名：権現山）に登れば、市内を見渡すことができ春には山頂が桜色に染まる。

【地区の課題】

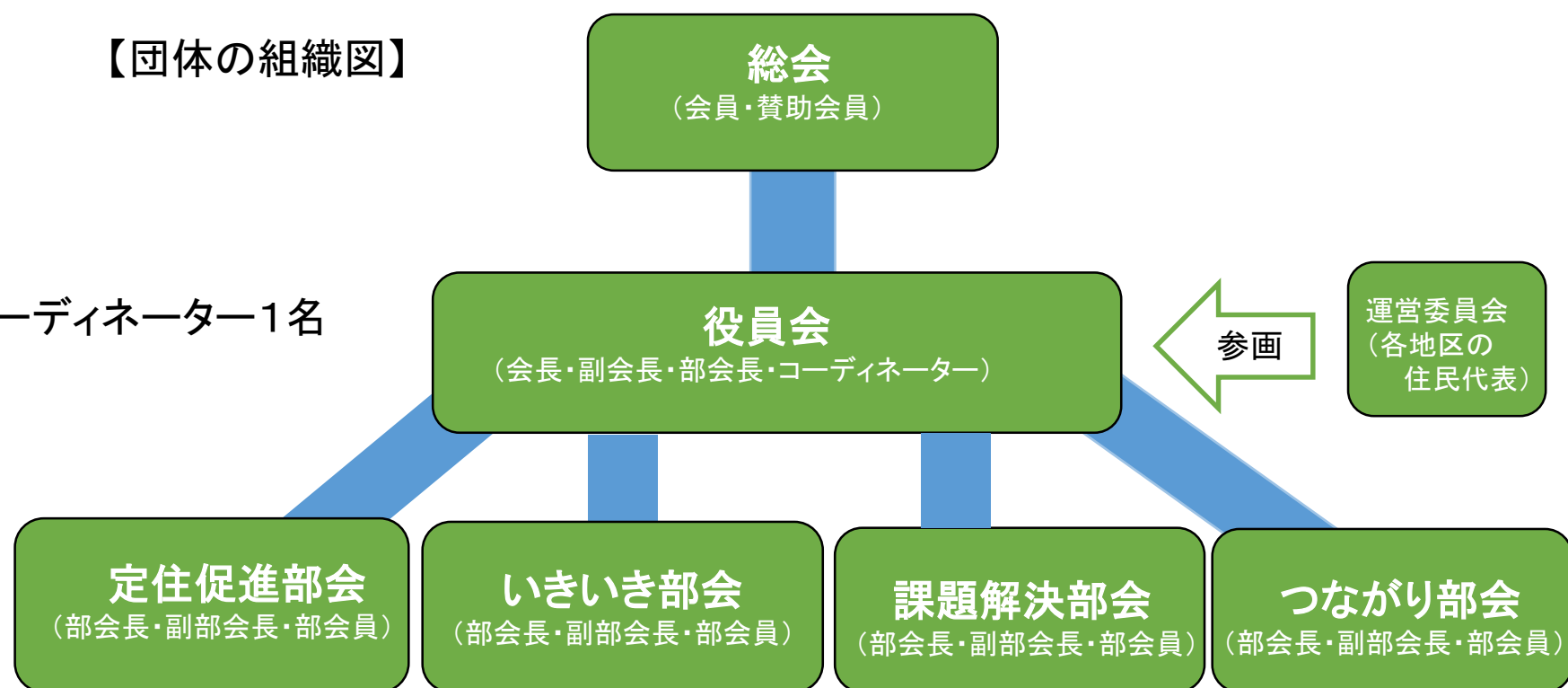
- ・少子高齢化 / 人口減少 / 学校統合による遠隔通学
- ・農業の担い手不足 / 耕作放棄地の増加 / 鳥獣被害
- ・空き家の増加 / 交通手段の減少 など

②実施団体の概要

【団体の名称】

きたせんどう あした
北仙道の明日をつくる会

【団体の組織図】



【構成団体、構成員】

会長1名、副会長3名、監事2名、コーディネーター1名
部会長4名、事務局長1名

- ◆ つながり部会（7名）
- ◆ 課題解決部会（16名）
- ◆ いきいき部会（7名）
（きんさい市/北仙よめな会）
- ◆ 定住促進部会（8名）

③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

つながり部会

- ▶ 小・中学生と地域の大人との交流を目的としたワークショップ、「Kita no-ma」の企画・運営
- ▶ リノベーションした図書室のさらなる魅力化

課題解決部会（北仙活力隊）

- ▶ 地域住民の困りごとの解決（主に草刈り作業）

いきいき部会

- ▶ 農産物の生産・加工・販売（北仙よめな会）
- ▶ 年数回、販売する場を作り人々の生きがいに寄与（きんさい市）

定住促進部会

- ▶ SNSの活用や自治組織だよりの発行など、地域情報の発信
- ▶ 北仙道パンフレットなどの広報資料の作成
- ▶ 竹灯籠イベントの開催



【北仙道の明日をつくる会 会長 伏谷正明さんからのメッセージ】

コロナ渦3年、多人数での集会だけでなく少人数の懇親会なども中止・人数制限されており、地域のつながり、人との絆が希薄になっているように感じています。

本会結成5年ですが、未だ地域での浸透度は不十分との思いから改革に向けて

・公民館との連携をより強める ・事務局体制の強化 など役員会で協議しています。

令和5年総会で会員皆様のご理解をいただき『住み続けたい北仙道』づくりを進めていきたい。

島根県益田市北仙道地区

⑤こんなことが話し合われています

役員会(月1回程度開催)

各部会の活動報告の内容検討を行っています。また今後の活動や課題についても役員で話し合っています。



定住促進部会(月1回開催)

北仙道の情報を発信するため、北仙道のパンフレットVol3作成に向けての話し合いや北仙道の魅力は何かを考え、定住につなげていくためにはどうしたらいいかを話し合っています。



つながり部会(月1回開催)

次世代育成・世代間交流事業の計画・反省をしています。毎月集まり部員がアイデアを出しあってできることを計画しました。



⑥こんな地域づくりを行なっています

★つながり部会★



北仙道合宿(1泊キャンプ)

地域の子ども、親子を対象とした1泊のキャンプ！竹ごはんやカレー作りをしてみんなで食べ、竹灯笼ワークショップ、テント張り、大正大学生による肝試し、映画鑑賞などを行い楽しい時間を過ごしました。



Kita no-ma

地域に住む子供たちと大人を対象に火薬を使ったモデルロケットづくりを行いました。参加者は30人、子どもは13人で暑い日の1日をロケットづくりに没頭しました。

★いきいき部会★



きんさい市・よめな会

昨年度から新たに立ち上げた、いきいき部会。きんさい市では地区外からの出品もたくさんあり本年度2回開催しました。毎回、120人前後の来場者です。

★課題解決部会★



北仙活力隊

北仙道地区内外で、草刈りなどの依頼を受け、活動を行いました。依頼する人も固定化し、安定した活動になっています。

★定住促進部会★



北仙道パンフレットVol.3・北仙道絵図

昨年度に続き、北仙道パンフレットVol.3に向けて話し合い、作成に取り掛かっています。また、北仙道絵図も完成です。



竹灯笼点灯

今年はつながり部会の1泊キャンプと一緒に竹灯笼ワークショップを行いました。完成した竹灯笼は、夜に点灯し、今までとはまた違った雰囲気を感じました。



【お問い合わせ先】

〒699-3674 島根県益田市大草町665-1

北仙道の明日をつくる会(益田市北仙道公民館内)

TEL・FAX : (0856) 22-0218

Facebook : <https://www.facebook.com/kitasendou/>



北仙道の明日をつくる会
Facebook



北仙道の明日をつくる会
Instagram

島根県益田市豊川地区

地域づくりのテーマ:「住みよい豊川・住みたい豊川」そして未来へ とよかわの未来づくり宣言 ~ほしい未来は 自分たちでつくる~



①地区の概要

【**地区の現況**】(令和5年1月末日時点)

人口: 819名(男393名、女426名)、高齢化率: 38.6%、世帯数: 373世帯

益田市の中心市街地に隣接した、都市部と山間部を併せ持つ緑に囲まれた自然豊かな地区。

【**地区の魅力**】

益田で唯一の一等三角点を有する葦草山や樹齢約140年の岩柵しだれ桜、大谷城跡等の歴史的遺産が数多く点在している。

地域を挙げて子ども地域活動やがん対策に取り組んでおり、地域を元気にすることを目的とした活動が始まっている。

【**地区の課題**】

自然に恵まれた住みやすい地区であるが、少子高齢化による人口減少、高齢者世帯の増加等により、後継者及び担い手不足など、様々な課題が山積している。

②実施団体の概要

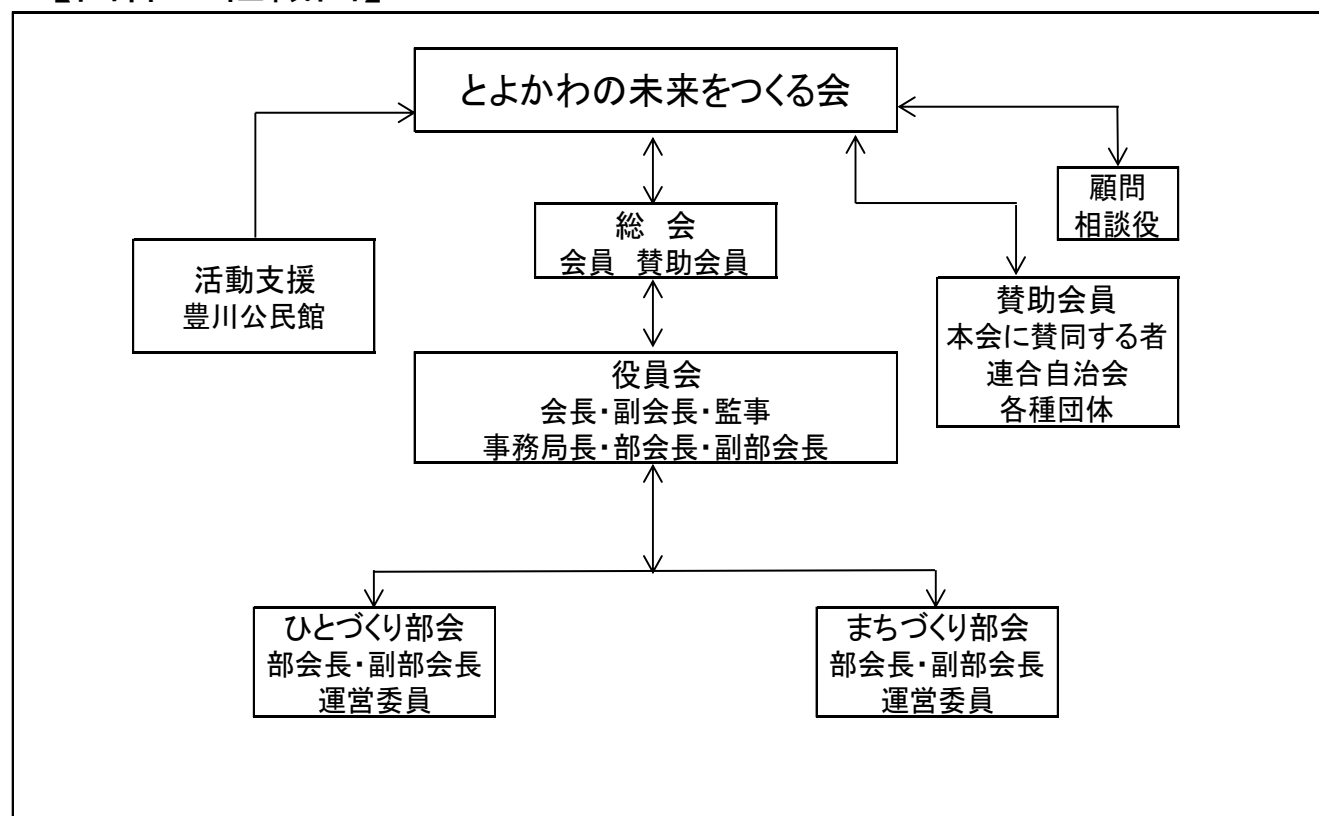
【**団体の名称**】

とよかわの未来をつくる会

【**構成団体、構成員**】

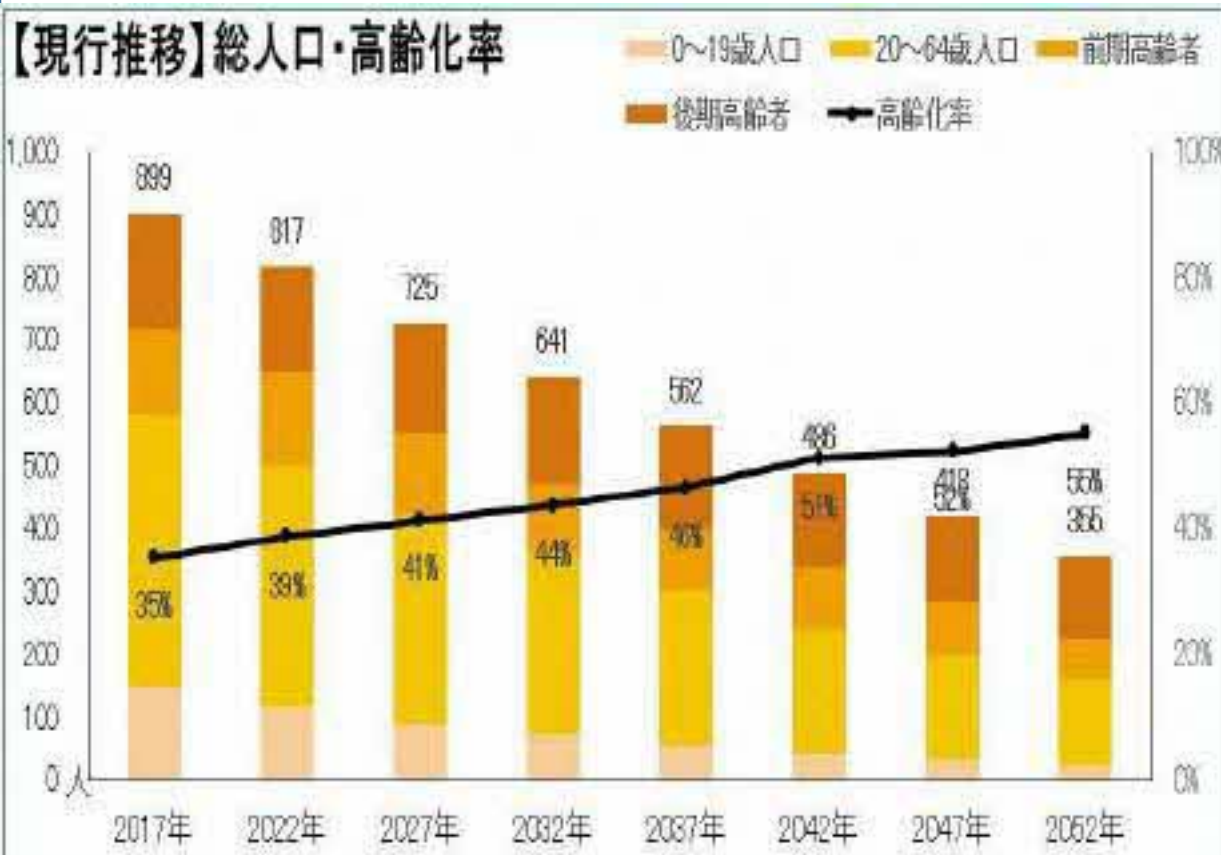
- ◆豊川地区社会福祉協議会
- ◆豊川地区公民館運営委員会
- ◆豊川地区連合自治会
- ◆豊川地区民生児童委員
- ◆豊川地区更生保護女性会
- ◆豊川地区食生活改善推進協議会
- ◆豊川地区つろうて子育て推進協議会
- ◆豊川地区団体等
- ◆豊川地区地域住民(I・Uターン者等)
- ◆豊川小学校
- ◆豊川保育園
- ◆本会の目的に賛同する者

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【**現行推移**】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

今年度はこれまで同様、継続して取り組む事業や、活動の中で新たに生まれてくる事業、益田市や他の機関との協働により、地域住民と共に積極的な取り組みができた。

来年度も引き続き、魅力のある住みよい豊川づくりの実現に取り組んでいきたい。

◆ひとづくり部会(つろうて子育て推進協議会との連携) **取組内容抜粋**
★とよかわ寺子屋の運営

小学校での学びを深める活動や子ども達の「やりたい」を実現する活動など、子ども達の主体的な学びを深める活動を展開。

★地区内外の交流

地区内の世代間の交流や地域外の方を招いての交流、地域外に出向いての活動発表・交流など「交流」を目的とした活動の機会を創る。

★「とよかわゴン」「とよかわの家」運営管理、お茶プロジェクトの実施他

◆まちづくり部会 **取組内容抜粋**

★空き家調査の活用

空き家についての調査の継続、空き家バンク登録の推進。

★安心して暮らせる地域づくり

災害時における各地区の避難経路策定の支援、鳥獣対策への支援。

【団体長メッセージ】

地域活動は、その時点の環境に合わせて「やれること」を「やれるだけ」取組むことで十分だと考えています。コロナ禍も3年が経過し、この1年も行事が思い通りに取組めないこともありましたが、その中にもあっても活動は総じて順調に進められていると考えています。私たちが目指す地域住民の思い「住みよい豊川、住み続けたい豊川」を一人でも多くの方に感じていただけるよう引き続き一步一步取組みを進めてまいります。



島根県益田市豊川地区

⑤こんなことが話し合われています。



令和3年 4月19日(火)
第1回 とよかわの未来をつくる会
役員会を開催。
役員改選及び組織体制の協議。
会長田原哲夫より山本宏史に変更。
定期総会説明(事業報告、決算報
告)3年連続で書面表決にて対応。



令和元年 6月3日(木)
第2回 とよかわの未来をつくる会役
員会を開催。

定期総会「書面表決」の集計結果
報告。各戸(約305戸)へ配布。166
戸より回答。地区民の理解と協力に
より定例総会の議案は可決。



第3期まちづくりプランに向けて！
来年度は「豊川の複合施設(保・小・
公)」の建設や「地域づくり団体全国
研修交流会」のホストとしての活動も
控えている。
「とよかわのめざす将来像」に向け
た新たな一歩を踏み出す。



今年度も新型コロナウイルスの影
響もあったが、役員会6回、ひとづくり
部会4回、ひとづくり部会4回を開催。
第2期プランで掲げた「楽しく」「子ど
も大人も」「自分たちで」をキーワード
に住みよい豊川に繋がる活動を展開
している。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



★とよかわ寺子屋の運営
長期休暇には科学教室、親子遠足な
ど13の様々な教室を開催。子ども達の
「やりたい」を実現する活動を支援。



★安心して暮らせる地域づくりの推進
益高生による探求学習「家と生きる」勉
強会を開催。高校生の視点から空き家
対策を発表し、ワークショップも行った。



★益田東中学校ローカルプロジェクト
2年生の「総合学習の時間」を地域の
方々との交流を図るを目的に開催。
「フルーツガーデン」倉庫のリフォームを支援。



★ひとまちカレッジとよかわキャンパス
新規講座「フルーツガーデンをつくろう」
を実施。植樹や倉庫づくり、ドライフル
ーツづくりを開催。豊川の新たな拠点として
進行中。(写真:植樹)



★お茶プロジェクトの実施
遊休農地の活用の研究として始まった
「お茶プロジェクト」も3年が経過、茶畑の
整備、茶摘み、袋詰め等小中学生との
お茶づくりも実施。(写真:ティーパック作成)



★中高生(とよかわっしょい!!)の支援
昨年度、県教育委員会の優良少年団
体表彰受賞により、視察や取材も多く
TSK「吉田君のしまねゼミ」では小学生と
の交流などの活動が紹介された。

お問い合わせ先

〒698-0012
島根県益田市大谷町334-1
とよかわの未来をつくる会(益田市豊川公民館内)
TEL:0856-22-0205
FAX:0856-22-0205
H P: <http://masuda-toyokawa.wixsite.com/miraidukuri/>



島根県益田市真砂地区

地域づくりのテーマ：「食育」と「福祉」を主軸に、地域で子どもを育てる“子育てしやすい”まちづくり



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末時点)

- ◆人口：310人(高齢化率:53.2%／147世帯) ◆自治会：8
- ◆面積：29.72㎡ ◆市内より約15km(車で約20分)

【地区の魅力】

日晩山(標高744m)の伏流水を利用した米や豆腐が特産品。H23年度から公民館・地域商社・小中学校が連携し開始した「食育活動」が実を結び、現在は社会福祉法人も参画し発展。さらに真砂保育園の「里山保育」は地域住民を巻き込んでの小さな福祉活動として定着しており、これらの複合的でアットホームな取組が小さな山間部の地区ながらソーシャルイノベーションの事例として地域づくりの専門家からも注目されている。

【地区の課題】

年々深刻になる人口減少に伴い、令和3年9月末で公共交通路線が撤退、翌年3月には真砂中学校が統廃合となった。しかし、その後中学校跡地に地域で建設を要望した複合施設(地域活性化交流館)が令和4年末に完成したことから、今後この施設活用を入居予定団体を中心に地域全体で取り組むことで、山積する地域課題を解決していきたい。

②実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織 ときめきの里 真砂(H28.4.24設立)

【構成団体、構成員】

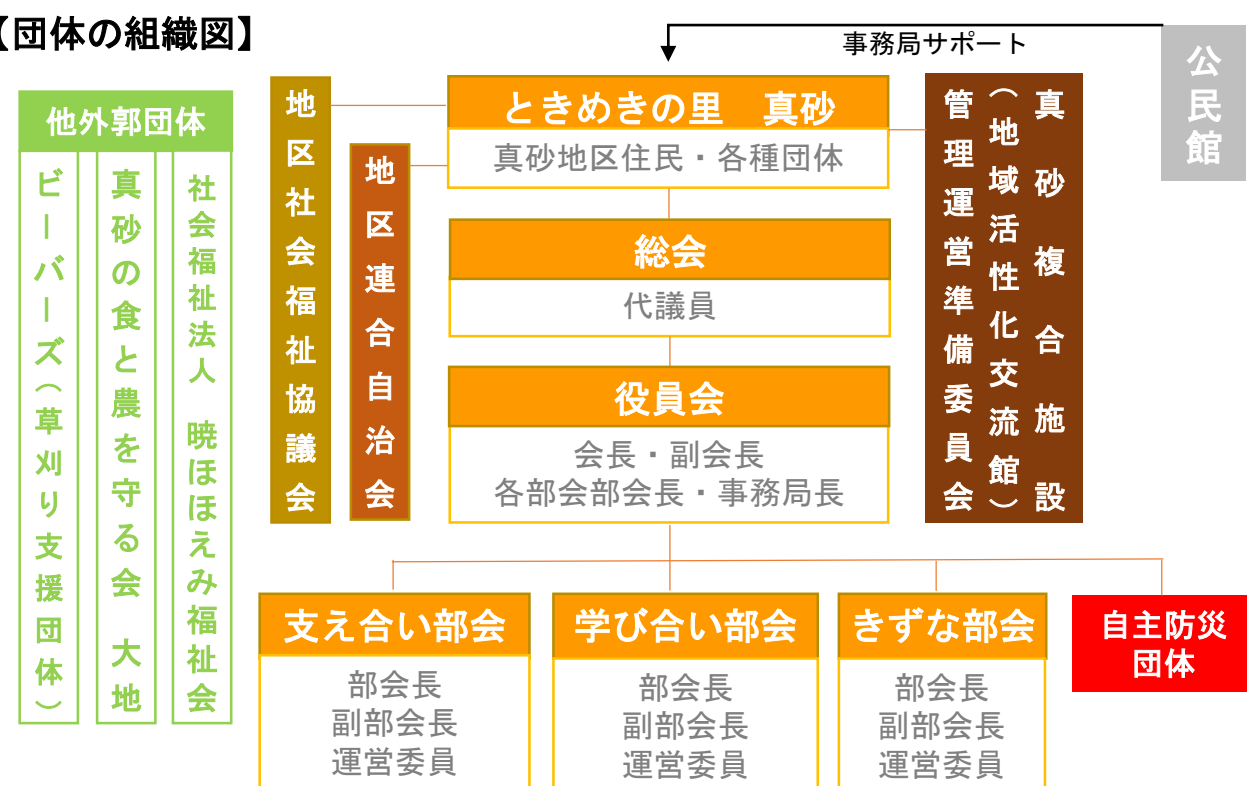
会長1名、副会長2名、監事2名、事務局長1名、会計1名

- ・支え合い部会 (男性2名、女性4名)
- ・学び合い部会 (男性4名、女性2名)
- ・きずな部会 (男性10名、女性5名)
- ・自主防災団体真砂 (班長5名、事務局1名)

◆他主要活動

- ・ひら山のふもとカフェtele-glue(てれえぐれえ)運営管理

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

◆保育所等への給食食材提供「高齢者の生きがいづくり」

高齢者の生きがいづくりと経済力向上を目的に、H23年より地区住民の家庭菜園の“あまり野菜”を市内3保育所や関連する福祉介護施設の給食食材等として集出荷しており、画期的なスモールビジネスとして多数の専門家からも評価を得ている。活動開始当初に公民館教室として実施していた真砂オリジナルの「土づくり」が参加した生産者の中で定着し、安心安全をコンセプトとした真砂野菜ブランドが確立している。

◆ふれあいバスツアー「買い物支援×交流」

交通弱者を対象に、地区内デイサービスの送迎車の空き時間を利用し、市内大型スーパーで買物をした後、真砂保育園にて園児と交流するバスツアーを月6回実施している。※園児との交流はコロナ禍にて休止中

◆真砂保育園の里山保育「小さな福祉活動」

“地域全体が園庭・住民全員が保育者”がコンセプトの「里山保育」は、地域の方とのふれあいを通した多様な学びを大切にしたい保育。園児は日々の“さんぽ”で住民等と交流を深め、保護される立場だけでなく、高齢者に対しては必然的に見守りのかねた小さな福祉活動を行っている。



【団体長メッセージ】 多くの方々のご支援により、真砂小学校を核とした複合施設(地域活性化交流館)の建設も、外構舗装工事を除き昨年末に完成いたしました。先行して、小学校・公民館・自治組織が1月より新施設にて業務を開始しておりますが、さっそく公民館の職員や応援隊員が小学校の授業に関わる等の交流がみられるようになり、多様な団体が同じ施設に入居するメリットを感じているところです。今後、3月には保育園、診療所も入居され、来年度からは本格的に地域の核として施設運営がスタートします。住民の皆さんにとって住みよい地区にするため、当組織も地域の方々と一緒に、この素晴らしい施設を最大限に有効活用し、「何事もやってみようよ、やってみなければわからないよ！」の思いを共有しながら前を向いて歩いていこうと思います。

島根県益田市真砂地区

⑤こんなことが話し合われています



ときめきの里 真砂 役員会

学校耐震化協議会から引き継ぎ、住民の意見をまとめて市に提案書を提出した複合施設(地域活性化交流館)が、令和4年末に完成したことから、今後は複合施設管理運営準備委員会と連携しながら、住民の方が施設を日常的に活用できるよう多様な仕掛けを協議中。



真砂複合施設管理運営準備委員会

令和4年に、複合施設(地域活性化交流館)の入居団体を構成員とした、施設管理と運営に関して協議する準備委員会を結成。市役所の各担当課や有識者との意見交換会、入居団体の引っ越しの準備・声掛けや、地域住民に対しての情報発信等も行っている。



イベント実行委員会

今年度はイベント会場となる旧中学校が工事中で制限される中、小学校(旧校舎)で行われた最後の大運動会は大成功。感染症によりさくら祭はイベントとしては中止、まるごとフェスタは保護者のみと規模縮小となったが、後日公民館で録画映像の上映会と掲示物の展示を実施。



小学校教員×公民館職員ワークショップ

複合施設(地域活性化交流館)に入居する際、小学校と公民館の職員が同室になることから、お互いの職員の様々な不安解消と友好的な関係づくり構築のため、津和野からコーディネーターを招き、アンケートや個人面談の実施、チームビルディングワークショップ等を開催した。

⑥こんな地域づくりを行なっています

自主防災団体真砂×地区連合自治会
避難経路等整備事業(益田市まちづくり特別補助金事業)
『暗い夜道を照らすプロジェクト』



目的: 地区外へ通う中学生の防犯対策、日常の支援を含めた有事の防災対策として、地域住民が安心安全に暮らせることを目的とする。

概要: 令和3年度に、一部の地域でソーラーライトを試験的に設置して実績を積み、本年度、自主防災団体真砂の各班(全5班)から要望された10路線75か所に対して、各自治会の協力を得ながら設置した。

作業は各班別に自治会協力のもと実施。夜間に発生する災害を想定しており、有事の際に自宅から避難場所へ安全に移動することへの不安解消に少しでも繋がることを期待する。

また、当初想定していなかった鳥獣被害の軽減にもつながっており、住民からの評判もよい。設置後の管理については各自治会が担当することとしている。

きずな部会
多世代交流イベント



目的: 地域の子どもと大人が様々な活動によりつながることで、子どもたちの思い出づくりと地域への愛着形成を、また大人が活動を通し地域の子どもたちの性質を把握したり様々なことを伝えることで次世代育成を図る。

概要: ①「親子で川遊び」

7月30日(土) 子どもたちの夏休みの活動の一環として、柿原地区で川遊びを実施。

②「みんなでラジオ体操」

8月に全4回開催。今年は東中6カルプロジェクトとコラボ企画で、多くの中学生が参加した。

③「大学生と夏休みの勉強会」

8月17日(水)、真砂公民館にて、ボランティアハウスとコラボ企画で、小学生の子どもたちが、帰省中の5名の大学生から宿題を教わりながら交流した。

地域活動交流拠点

ひら山のふもとカフェtele-glue(てれえぐ)



目的: 飲食店のない当地区において、住民が気軽に集まり、飲食しながら地区内外の人たちと交流できる場づくり等を目的にH28年にオープン。

概要: 調理師免許の資格不要で誰でもワンデイレシェフとして“いちにちカフェ”が営業できる厨房付きレンタルサロン。

定期出店は、住民による週2回の「早朝モーニング喫茶」(朝6:00~9:00頃まで)の他、市内雑貨店企画の月イベント「イツモni+」で、プロアマ問わず市内外のシェフによるランチ、リラクゼーションの施術や手作りワークショップ等のイベントを定期開催している。

感染症による制限もあるなか、早朝モーニング喫茶の時間に合わせ、週1回、市内指圧院の出張マッサージも加わり好評を得ている。

【ときめきの里 真砂 事務局】

〒698-0411 益田市波田町イ490-1 ひら山のふもとカフェtele-glue横

TEL/FAX 0856-26-0002(真砂公民館内)

HP(真砂+) <http://masagoplus.jp/>

facebook(真砂+) <https://www.facebook.com/masagoplus/>

お問い合わせ先



島根県益田市西益田地区

地域づくりのテーマ： 一人ひとりが輝く “いいまち にしますダ!!”



①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

人口：3,757人 世帯数：1,727世帯

高齢化率：46.5%

自治会数：17 〈益田市においては中規模の地区〉

【地区の魅力】

各金融機関、保育園、小学校・中学校・養護学校、自動車学校、個人医療機関、薬局、各種福祉施設、スーパー、コンビニエンスストア、飲食店などがあり、普段の生活には困りません。

また、清流高津川や匹見川が流れ、鮎釣りや川辺の活動などたくさんの人が楽しめる自然環境が揃っています。2019年公開の「映画 高津川」では、ロケ地のひとつにもなりました。

【地区の課題】

人口の減少や高齢化が年々深刻になってきており、自治会役員の担い手不足などの課題が浮き彫りになってきています。

②実施団体の概要

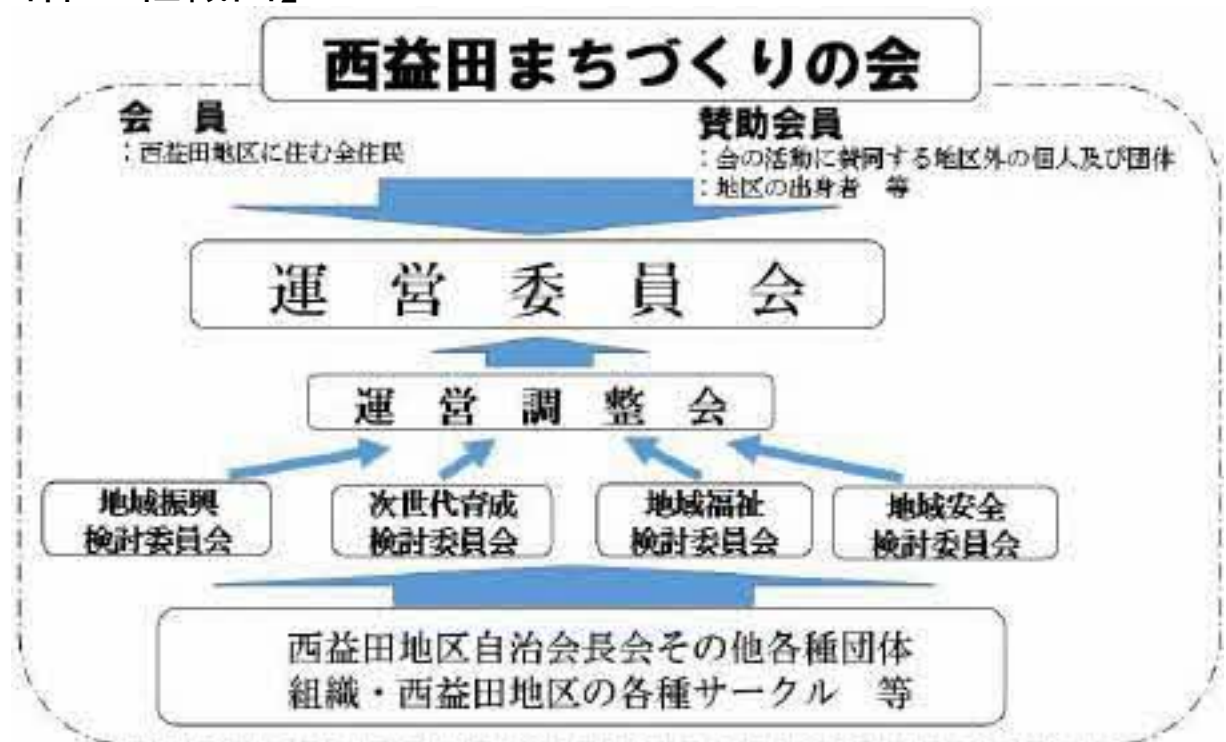
【団体の名称】

西益田まちづくりの会

【構成団体、構成員】

西益田まちづくりの会
西益田地区連合自治会
豊田・西益田公民館運営委員会
豊田・西益田公民館
益田商工会議所西益田支部
西益田地区つろうて子育て協議会
西益田地区青少年育成市民会議
地区住民

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

❖ 地域振興検討委員会

- ・空き家情報提供募集プリントの作成と配布
- ・手作りイルミネーション設置活動

❖ 次世代育成検討委員会

- ・「西益田 灯火祭」の開催

❖ 地域福祉検討委員会

- ・移動手段などの情報提供の検討

❖ 地域安全検討委員会

- ・防災学習会
- ・鳥獣被害対策学習会

❖ 運営委員会

- ・みずいろ公園 整備事業(まちづくり活動特別補助金)



西益田まちづくりの会
マスコットキャラクター
西田マス

【西益田まちづくりの会 会長 牛尾智昭さんよりメッセージ】

「西益田まちづくりの会」は設立4年目を迎えました。初期目標の「課題検討の話し合いの場と人の確保」は軌道に乗ってきたのではないかと感じています。今後は、「検討」の域を超えて、「具体的な取組や活動」をどう膨らませていくのか、考えていく必要があります。他地区の自治組織の実践から学び、よい活動を模倣したり、他組織などとの連携も模索していけたらと思っています。



島根県益田市西益田地区

⑤こんなことが話し合われています



地域振興検討委員会では、地域の課題にもなっている空き家問題について検討を進めています。特に“まだ住めそうな空き家”に重点を置き、地区住民から情報提供を求めるプリントを作成し、配布しました。



地域安全検討委員会では、地区住民に防災に対する意識を高めてもらうため、「防災学習会」を開催しました。講師の桂木正則氏から水害への備えについてお話し頂き、災害に強いまちづくりを進めるためのアドバイスをいただきました。



地域福祉検討委員会では、昨年度実施した「あなたの困りごとアンケート」をもとに、「交通・移動・買い物」に着目して取り組みました。「送迎を含めた100歳体操サロン」の提案を検討し、各自治会長へ情報提供しました。



12月に行った「まちづくり合同会」では、運営委員18名、4つの検討委員37名、顧問・監事6名などが一堂に集まり、グループごとのフリートークで、設立より4年間の振り返りや、成果と課題について意見・感想を出し合いました。

⑥こんな地域づくりを行なっています



西益田 灯火祭

～中学生有志とまちづくりの会によるつながり協働プログラム～

「地域を元気にしたいんです！」「地域のために何かしたいんです！」この中学生の思いで始まった灯火祭は、今年で3回目です。今年の中学生は、「もっと広く・深くつながりをつくりたい！」とパワーアップして取り組みを受け継ぎました。6月から中学生の有志と次世代育成検討委員会が協働で企画検討を進め、11月3日に開催しました。今年のメインは「3D竹灯籠」です。火を灯すと立体的なハートの形が浮かび上がり、約750人の来場者に楽しんでいただきました。

手作りイルミネーション設置活動

西益田地区の冬の風物詩であるこの活動は、今年で10回目となりました。今年から地域振興検討委員会が主体となって取り組み、例年とはひと味違います。設置場所は、横田町家下の市営住宅横の空地(旧豊田小跡地)です。まちづくりの会と地域の協力者の方々、横田中学校の有志のみなさんに協力していただき、色とりどりのイルミネーションを設置しました。デザインは、中学生が考えてくれたものです。地区内外のたくさんの方が写真撮影を楽しんでおられました。

自然の恵み(地域資源)を活かした活動

西益田地区には清流高津川や匹見川が流れており、年間を通して様々な“川の活動”が行われています。小学生や保育園児を対象とした稚鮎の放流体験、体ひとつでプカプカ流れる親子川流れ、名人に仕掛け作りから教わる川釣り教室、保育園児から中学生を対象とした鮎体験交流など、西益田の川文化を学ぶ活動を通して、次世代を担う子どもたちに自然の豊かさを伝えています。また、夏季にはカヤックやSUPなど、川のスポーツを楽しむこともできます。

お問い合わせ先

〒699-5132
島根県益田市横田町454-3
西益田まちづくりの会(豊田公民館内)
TEL:0856-25-2222(FAX兼)



Facebook



Instagram



島根県益田市二条地区

地域づくりのテーマ：里山をいかし、人と自然がつながる二条『みんなで つろうて ようしょうやあ』



くらし部会つろうて班 毎年恒例ミニ門松づくり

① 地区の概要

【地区の現況】令和5年1月末時点

人口：459名
世帯数：243世帯
高齢化率：52.9%

【地区の魅力】

二条地区は、益田市の西端に位置する比較的標高差のない中山間地域。二条の中心には益田市指定文化財の横山城址がある。6月になると二条川を中心に多くのゲンジボタルが飛び交い、日本一の里山を目指し、環境保全にも取り組んでいる。

【地区の課題】

- ・竹チップ・パウダーの製品化、販売ルート探しとブランド化
- ・放置竹林や耕作放棄地の解消
- ・二条ふるさと便の継続受注と販売
- ・地域マネージャー制の採用と法人化
- ・旧西南中学校の跡地利用問題

② 実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織

二条里づくりの会

【構成団体、構成員】

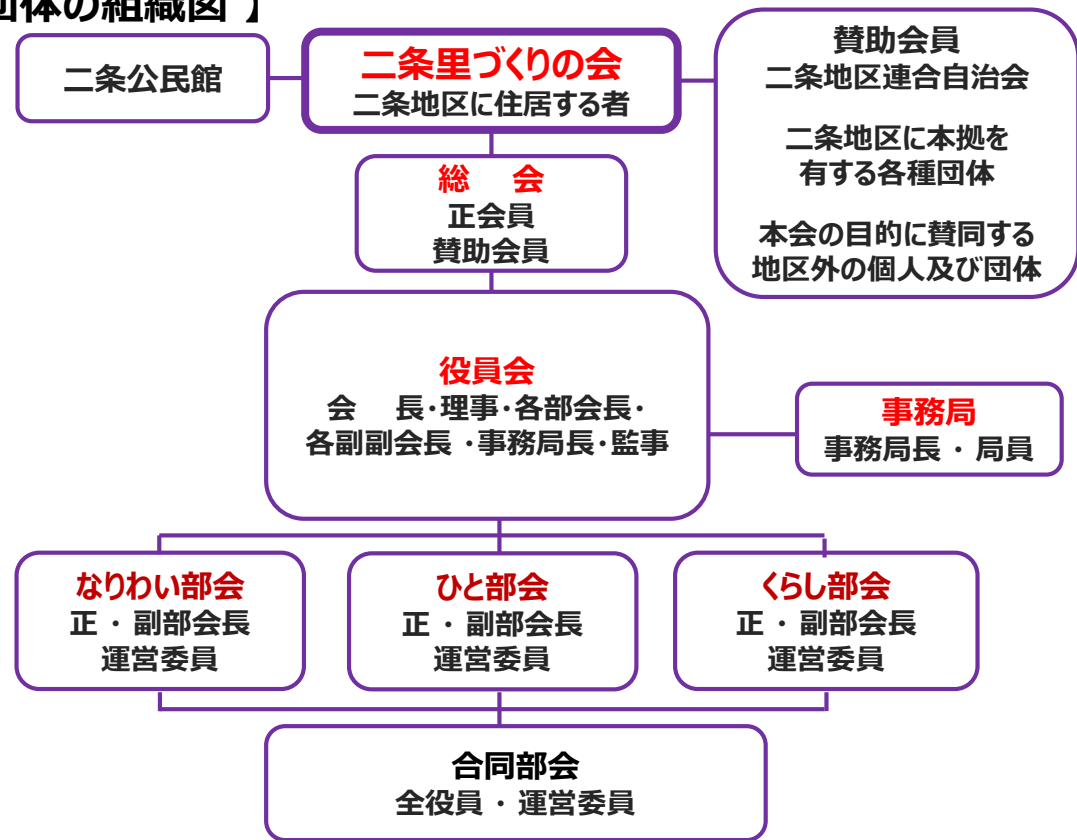
役員・運営委員 全25名

- ・なりわい部会 5名
- ・ひと部会 5名
- ・くらし部会 10名
- ・監事 3名
- ・事務局長 1名
- ・監事 3名
- ・事務局員 1名



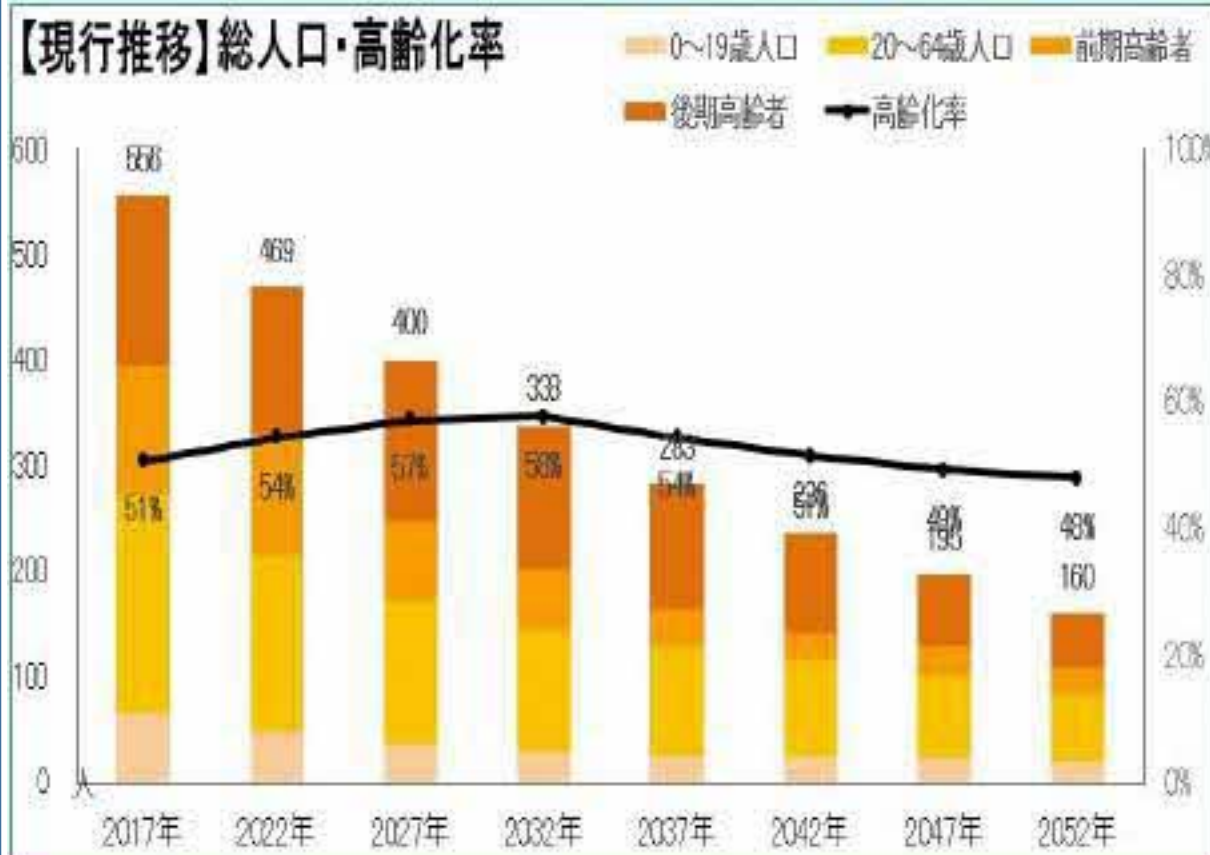
【二条地区イメージキャラクター】
ホタルン（ピカルンとピカリン）

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④ 地域の魅力化に向けた取組

令和2～7年度元気なむらづくりプランPart.2〔6カ年計画〕において、二条で取り組むべき主な7つの事業を設定した。事業計画に合わせさらに3部会が活動を行う。（以下、抜粋）

- ①新たな産業を興す事業 — 二条ふるさと便（お中元、お歳暮）
竹チップパウダー生産、特産品開発
- ②環境をよくする事業 — 有害鳥獣対策、横山城址環境保全
- ③高齢者にやさしい事業 — 地区内輸送、サロン活動
- ④安心安全な暮らし事業 — 自主防災組織設立・防災研修
- ⑤次世代を育成する事業 — つ〜キャン・収穫祭・ミニ門松づくり
どんぐりの森活動
- ⑥里山の環境を活かす事業 — 自主防災組織設立・防災研修
- ⑦住民をふやす事業 — 体験田舎住宅つどいの利用促進



佐藤 伸廣 会長

【会長メッセージ】会長をお引き受けして1年が過ぎました。この間、コロナの影響は依然として続いています。それでも「二条ふれあい祭り」が開催されるなど明るい兆しも伺えるようになりました。当会もこの1年「買い物」や「通院」などで不便な思いをしておられる方々のために移送事業を始めようと奔走しましたが、運送事業者を守る法律の壁は厚く解決法は容易には見つかりません。地域にとって楽しいことは自治会・小学校・各種の団体・里づくりの会等の垣根を越えて協力し合い、困り事があった時は「里づくりの会」があつて良かったと思つて頂けるようなセーフティネットを整備するよう、会員の皆様のご協力を頂きながら今後も努力を続けたいと考えております。

島根県益田市二条地区

⑤ こんなことが話し合われています



5月 定期総会

- ・令和3年度事業報告及び収支決算
- ・令和4年度事業計画・予算案
- ・令和4年度、5年度役員改選

5月より佐藤会長が選任される
新型コロナウイルス対策により人数制限があり、二条地区民の30名が出席



7月 グリーンウッドオンライン研修

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター「ひとづくりはむらづくり～自然の中でこどもたちは何をまなぶ？どうまなぶ？」のオンライン研修を実施
大人と地域の関わり方を子どもたち自身で考えさせ、成長を見守るのが大事ということを学び、二条地区で同じようなことができるよう今後も話し合いを進めていく
【NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター】
所在地：長野県泰阜村



10月 炊き出し訓練

二条ふれあい祭り時に炊き出し訓練を実施
防災用かまどセットを使用し、二条地区の女性の参加も多く、非常時にご飯の炊き方を学んだ



2月 三次市等若手市議会議員 視察

【視察内容】
二条の取り組み等質問
お試し体験住宅つどいの見学
サル囲い檻(地獄檻)の見学
視察は他に
・京丹後市
・秋田県能代市
・中四国農政局

からも受け入れをした

⑥ こんな地域づくりを行なっています

なりわい部会

新たな産業を興す事業
《二条ふるさと便 受注・発送》



事前になりわい部会で二条ふるさと便の内容の話し合いをし、お中元・お歳暮を発送。すべて二条で作られた商品をお中元10セット、お歳暮20セットを発送した。県外からも多数注文があり、さらに二条の認知向上を目指す。

ひと部会

里山の環境を活かす事業事業
《どんぐりの森活動》



今年度で7年目となるどんぐりの森活動に、里づくりの会も協力し、『源流を保全する』『豊かな広葉樹の森を取り戻そう』という目的の下、植樹活動をした。他地域の小学生にも二条の自然の良さを知ってもらった。

くらし部会

環境をよくする事業
《有害鳥獣対策勉強会・薪割り機実演》



桂平小学校の授業の中で『クマから身を守る方法』を学んだ。児童のみならず地区民の参加もあった。まずはクマに出会わないことが一番で、出会ってしまった場合の対応方法を学んだ。まちづくり活動特別補助金で導入し、倒木を伐採するために利用。伐採後は薪として活用できる。

くらし部会 つろうて班

次世代育成を育成する事業
《地域×子ども つ～キャン2022・収穫祭》



8月につ～キャン（つろうてキャンプ）、11月に収穫祭を実施。どちらも桂平小学校を利用し、大人と子どもたちで協力して自分たちで作った野菜などを調理した。収穫祭ではお世話になった地域の方々を呼び会食を行った。またお米の販売・配達体験を行った。自分たちで野菜や米を作る大変さ、楽しさを学んだ。

お問い合わせ先



〒698-2254 島根県益田市桂平町76番地1 お問い合わせ先

二条里づくりの会（事務局：益田市二条公民館内）

TEL/FAX：0856-29-0001

HP：https://nijo2project.wixsite.com/website

Facebook：https://www.facebook.com/nijo2project



島根県益田市美濃地区

地域づくりのテーマ「あたたかな絆に支えられ、みんなが安心して暮せる美濃づくり」



生涯教育・集い・子育て支援・防災・医療など多機能を有した拠点として期待されています。

①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

人口：307人 高齢化率：54.1% 世帯数：145世帯

【地区の魅力】

地域住民のボランティアにより里山の豊かで美しい景観の維持向上が図られています。近年、耕作放棄地対策や景観向上を目的に、大輪のひまわりを一面に咲かすことで住む人を癒しています。毎年開催される「ひまわり祭り」では、訪れる多くの方々の目を楽しませ交流人口の拡大に繋がっています。

また、中世の山城「桜田城」を地域のシンボルと位置づけ、地元の歴史を学ぶ拠点とすべく整備を進めています。

【地区の課題】

住民が安心して暮せるよう持続可能な地域づくりのため策定した「まちづくりプラン」に則り活動していますが、その原資の大半は住民のボランティアに支えられたものであり、今後自主財源を確保できるような新たな事業展開が必要と考えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

はつらつ美濃の里〔平成29年5月27日設立〕

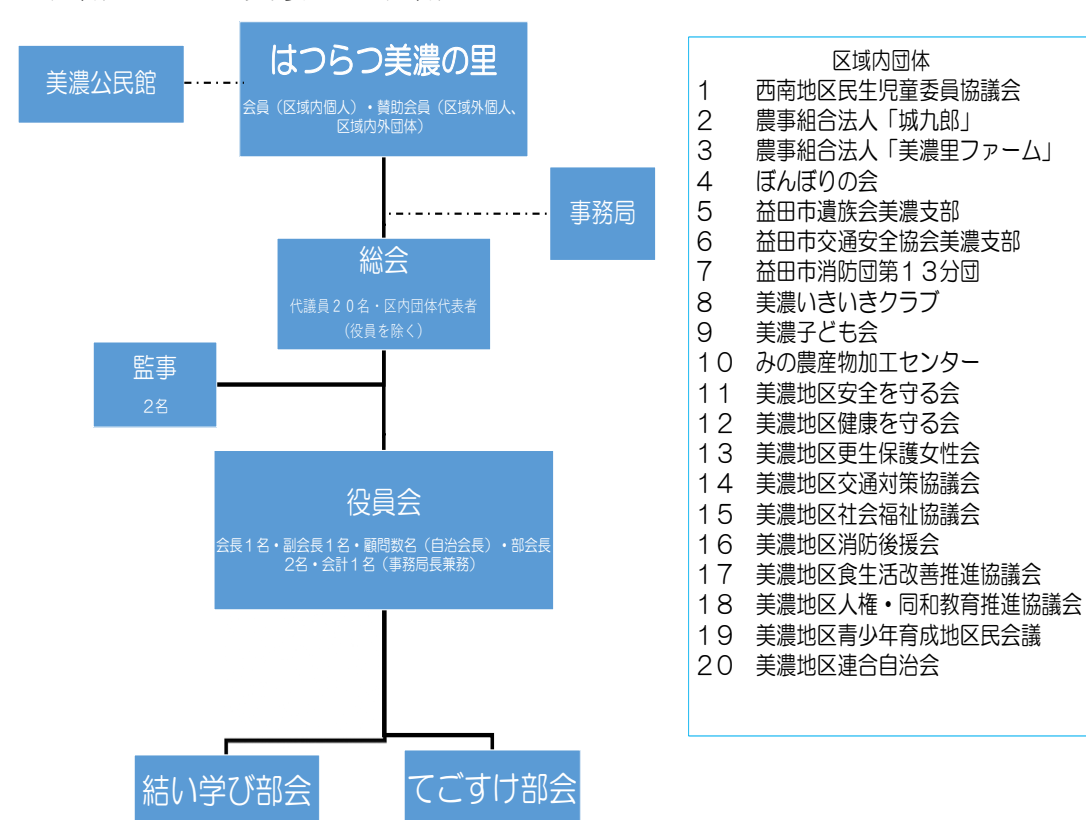
【構成団体、構成員】

委員数 22名(うち役員 12名)

事務局長(会計)1名、事務局 1名

- ◆ 美濃公民館運営委員・・・10名
- ◆ 自治組織代議員・・・・・・・・20名
- ◆ 区域内団体・・・・・・・・20名〔重複5名〕

地域自治組織 はつらつ美濃の里 組織図



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

●「共に学び、絆をつくる」：結い学び部会

- ・地区外へ広報紙郵送
- ・地域マップ(見守り・防災)づくりのため調査・資料集め
- ・歴史の掘り起こしと継承事業(伝統行事・山城整備・史跡)
- ・しめ縄づくり、どんど焼き
- ・SNS勉強会、LINE活用

●「共に支え合える美濃」：てごすけ部会

- ・外出支援事業「てごすけ号」の運行
- ・収益事業(草刈機械等の貸し出し)
- ・おたすけ隊事業(軽作業、草刈り)
- ・ひまわり畑、菜の花畑播種

●「人をつなぎ、未来へつなぐ」：その他

- ・人を呼び込むことで地域の活性化に繋げていく

◆「灯り」が照らす地域再生事業：ぼんぼりの会

- ・ぼんぼりロード〔夏〕/イルミネーション〔冬〕
- ・環境保全整備事業/地区内行事の実行支援



【団体長メッセージ】

急速な人口減と高齢化の波が周辺地域に深刻な影響を与え、生活する上で様々な課題が生じております。その状況を住民自ら少しでも改善しようと、平成29年5月自治組織「はつらつ美濃の里」を立ち上げ、既存の協力団体と共に安心して暮らせ豊かな生活が送れるよう活動を進めております。今後さらに、誇りある地域、持続可能な地域となるよう活動の輪を広げて行きたいと考えております。

島根県益田市美濃地区

⑤こんなことが話し合われています



定期総会(5月)
前年度事業報告・決算報告
新年度事業計画案・収支予算案
の承認
(まちづくり活動特別補助金事
業案の検討。
2部会の活動計画及び予算に
ついて)
規約の改正、役員改選



はつらつ通信(地区広報
誌:毎月発行)を美濃にゆ
かりのある地区外在住者に
毎号発送(ええ出会い部
会)。これからも絆を大切に
していきます。
地区外発送部数27部



中世の山城「桜田城」を地元の歴
史を学びなおす地域のシンボルと
して捉え、環境整備を行い、様々
な活動を通し活用されています。
また、地元に残る伝統行事の継
承を目的に子ども達を招きしめ飾
り作り、どんど焼きなどを企画し、
多世代交流を行なっています。



盆行事開催について協議し
運営主体が公民館から地
域自治組織となりました。実
施内容に大きな変更はあり
ませんが、自治組織に会計
が組み入れられることにな
りました。

⑥こんな活動を行なっています



地区民でひまわり播種



ひまわり畑迷路



菜の花畑



グラウンドゴルフ大会



桜田城跡



健康教室 歴史ウォーク



しめ縄飾り作り



美濃ふれあい祭り



ぼんぼりの会



どんど焼き

お問い合わせ先

【〒 699-3766 島根県益田市美濃地町 イ146】

地域自治組織:はつらつ美濃の里

益田市美濃公民館内

TEL:0856-29-0031 [FAX:同] E-mail: csc-mino@city.masuda.lg.jp

facebook <https://www.facebook.com/minotiku/> [はつらつ美濃の里]

島根県益田市小野地区

地域づくりのテーマ:「海・山の恵みを活かす小野の里」



①地区の概要

【地区の現況】

人口:1,361人 世帯数:631世帯
高齢化率:49.1% (令和5年1月末時点)

【地区の魅力】

小野地区は、島根県西端に位置し、海岸沿いで山口県萩市と接しており、古来「柿本人麿」生誕地として伝承されている。

益田十景にも2ヶ所が選ばれており、人形峠から見る雄大な景観と三里ヶ浜の観音岩から見る夕日は絶賛され、その他小浜の海岸は、東山魁夷画伯が皇居新宮殿及び奈良唐招提寺の壁画のモチーフにした地である。(写真は人形岩の風景)

【地区の課題】

少子・高齢化の進行に伴い、拠点となる生活ゾーンの本機能が消失してきており、とりわけ診療施設及び生活用店舗が減少し、生活不安が拡大している。

②実施団体の概要

【団体の名称】

夢あふれる小野の里

【構成団体、構成員】

- 各自治会の会長・副会長
- 地区老人クラブ連合会会長
- 地区食生活改善推進協議会会長
- 地区民生児童委員協議会民生児童委員(女性委員)
- 交通安全協会支部長
- 地区青少年健全育成協議会会長
- 地区更生保護女性会会長
- 地区健康と福祉を推進する会会長
- 商工会支部代表
- 小野中PTA会長
- 一般会員
- 地区民生児童委員協議会会長
- 地区社会福祉協議会会長
- 自主防災組織連絡協議会会長
- 益田市消防団第14分団長
- 地区交通対策協議会会長
- 地区安全を守る会会長
- 地区つろうて子育て協議会代表
- 子ども会代表
- 地区人権・同和教育推進協議会会長

【団体の組織図】

《役員会・運営委員会の構成》

(役員会)
会長・副会長・事務局長
理事(4名)・部長(3名)
副部長(3名)

《運営委員会》

構成員
(団体代表)
34名

構成員
(一般)
15名

【サポート】
小野公民館

③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

■ 小野探訪ウォーキング

平成27年度から毎年各地区持ち回りで会場を設定し、取組んでいる。(令和2年度～4年度はコロナ禍のため中止)

■ おの産直市

令和元年度より本格的に取組を開始し、当面は年間3回の開催を目標としている。

(令和2年度～4年度はコロナ禍のため12月に1回ずつ実施)

■ 「子ども見守り活動」の実施

令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。

■ 「草刈り隊」の活動開始

令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。

■ 休日カフェ

平成30年度から、地区内有志の方による「まるCafe」を開始した。(令和2年度、3年度はコロナ禍のため活動を休止したが、今年度は規模を縮小して実施)

団体長の写真



【団体長メッセージ】

この3年間は、コロナ禍のために小野の里の地域活性化の夢は膨らむどころか萎んでしまいかねない危機感と寂寥感を感じています。盆踊りや敬老祝賀会、探訪ウォーキング等の賑わいもなくなり、小中学校の主要行事も地域住民不参加の形に。そんな中でも、「子ども見守り活動」、「おの産直市」、「草刈り隊」、「まるカフェ」等の活動で子どもを含む地域住民との絆を着実に深めている。産直市では引き続き小中学生に参加してもらい、回数と内容をさらに充実していきたい。

(夢あふれる小野の里 会長 大賀 敏郎)

島根県益田市小野地区

⑤こんなことが話し合われています。



【定例総会】

コロナ禍の中ではありながらも、中学校体育館を会場として通常総会を開催した。今年度からの新たな事業計画となる「第2次地域づくり計画」等について、慎重審議を行った。



【防災環境部の会議・取組】

防災環境部では、地区内の「草刈り活動」や、「子ども見守り活動」等について協議・支援を行っている。また、今年度より新たに「鳥獣被害対策」についての取組みとして、アンケート調査を実施した。



【健康福祉部の会議・取組】

健康福祉部の取組みとして、地区文化祭において、「検診・健診に関する記事」をパネル展示した。また、「呼びかけ文書」を差し込んだポケットティッシュを配布する等、啓発活動を行った。



【生涯学習産業部の会議・取組】

生涯学習産業部では、主に「小野探訪ウォーキング」や「おの産直市」の実施計画等について、協議を行った。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



■「子ども見守り活動」の実施 (防災環境部会の取組)

地元戸田小学校児童の登下校時の見守りや、日常生活時における「ながら見守り」等を活動内容として、令和2年度より「小野地区子ども見守り隊」活動を実施している。各地区において選任された隊員さんが、コロナ禍にも負けず連日子どもたちと大きな声で「あいさつ運動」を展開されている。



■「しゃべり場」の活動 (防災環境部会の取組)

若者の交流の場「しゃべり場」を定期的で開催し、活動内容等について協議を行っている。灯籠の灯りで地域を明るくしようということで、12月に小野公民館において「灯りをともすイベント」を開催した。アルミ缶やペットボトルで作成した灯籠約150個を点灯し、地区内外から多くの方が「夕暮れのともしび」を観賞された。



■「おの産直市」の取組 (生涯学習・産業部会の取組)

昨年、一昨年同様に「新型コロナウイルス感染予防」を考慮し、12月に第1回目となる「産直市」を実施した。

当初は「小野探訪ウォーキング」を同日に開催する予定であったが、寒波による悪天候のためウォーキングはやむを得ず中止し、「産直市」は公民館室内で実施した。

集客面を心配したが、販売開始30分前から行列になる程の人出で、地区内外から約170名の方が来場した。また、小野中学校生徒のみなさんが販売等の体験活動に参加し、来場された地域の方と楽しいふれあいのひと時を過ごされたようです。



■「まろカフェ」の開店

地区内有志の発起により活動を実施しているが、令和2年度及び3年度はコロナ禍のため活動を休止した。今年度は、7月と12月に各1回ずつ開店し、テイクアウトにより販売した。

来場された地域の皆さんが、「淹れたての香高い本格的なコーヒー」を楽しまれたようです。

お問い合わせ先

夢あふれる小野の里

〒699-3763

益田市戸田町イ501番地

電話・FAX: 0856(28)0001

フェイスブック: @hitomaro201707

島根県益田市中西地区

地域づくりのテーマ：「いつまでも、いきいきと、暮らし続けられるまちへ」



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末時点)

人口:1,716人、世帯数:766世帯、高齢化率:43.9%

市の中心部から西に約10kmのところに位置し、高津川・白上川流域の平坦な田園地帯と棚田(日本棚田100選)その周辺の山間・丘陵部で構成されている地域です。

【地区の魅力】

- ・大道山と麓に広がる中垣内の棚田
- ・平坦な土地に広がる田園・農園
- ・国営西部開パイ事業
- ・石見臨空ファクトリーパーク

【地区の課題】

- ・交通支援対策
- ・不法投棄問題
- ・有害鳥獣駆除対策

②実施団体の概要

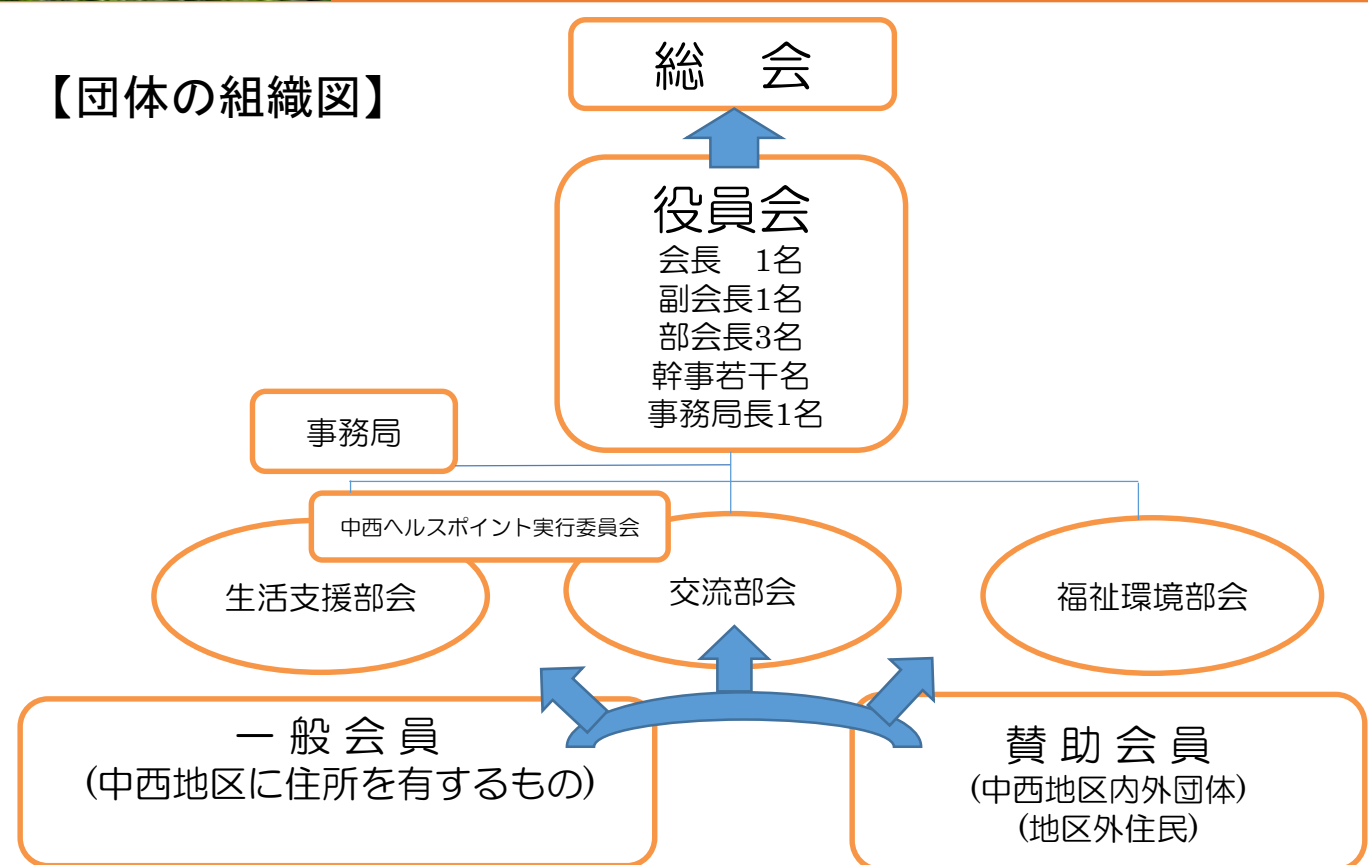
【団体の名称】

なかにし地域づくり協議会

【構成団体、構成員】

- ・各運営委員会
- ・地区連合自治会会長会
- ・地区老人クラブ連合会
- ・地区不法投棄見廻り隊
- ・地区食生活改善推進協議会
- ・地区小・中学校
- ・中西ヘルスポイント実行委員会
- ・中西いき活き市実施委員会
- ・中西なんでもお助け隊
- など

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

○地域自治組織「なかにし地域づくり協議会」企画・運営

◆生活支援部会

高齢となってもいつまでも生活するための支え合う仕組みづくりまたは定住促進

- ・交通対策
- ・なんでもお助け隊
- ・空き家対策
- ・通院、買い物送迎サービス
- ・ハンマーナイフモア貸出

◆交流部会

世代間交流を活発にするとともに、地区外に出られた人に情報の発信をし、交流を深める。またこれらの活動を通じ小中高生にふるさとに愛着が持てる心を育てる

- ・いき活き朝市
- ・ニュースレター
- ・中西公民館ホームページ

◆福祉環境部会

いつまでも中西の地で暮らし続けられる様に生活環境の整備をする

- ・不法投棄見廻り隊
- ・花いっぱい運動
- ・荒廃農地活用
- ・有害動物対策

【団体長メッセージ】

なかにし地域づくり協議会は、今年度も3つの部会で協議し事業計画を決めて進めて参りました。基本的にはまちづくりプランにある様に、住民の無理のない参画を進めたいと考えており、今まで中西独自の取り組みである「中西ヘルスポイント事業」を更に充実し、「中西何でもお助け隊」で高齢者・障がい者のおられる世帯を中心に通院・買い物の交通支援(送迎サービス)の試験運行を行い、自立し、高齢となってもいつまでも暮らし続けられる地域を目指します。



島根県益田市中西地区

⑤こんなことが話し合われています



生活支援部会

令和4年6月20日に話し合いを行い、交通対策や空き家対策、なんでもお助け隊等の予算案やこれからの活動について協議しました。



交流部会

令和4年6月21日に話し合いを行い、いき活き朝市や中西公民館ホームページの制作等の予算案やこれからの活動について協議しました。



福祉環境部会

令和4年7月26日に話し合いを行い、不法投棄見廻り隊や花いっぱい運動等の予算案やこれからの活動について協議しました。



不法投棄見廻り隊

令和5年1月28日に意見交換を行い、ごみのポイ捨ては以前より少なくなっているが、今後も不法投棄の啓発に取り組むことを確認しました。

⑥こんな地域づくりを行なっています

なんでもお助け隊



中西ヘルスポイント制度の一環として平成27年から本格的に始動しました。令和4年度は庭、畑、荒廃農地草刈り等、計17回の依頼を受けました。

いき活き朝市



毎月第3土曜日に開催し、地域の方達が作られた野菜や果物、惣菜、魚などを販売し、子供から高齢者まで交流の場として大好評です。

不法投棄見廻り隊



黄色ジャケットを着て見回りしごみ拾いを実施しています。今年度は益田阿武線雁長交差点を中心にパトロールしました。

花いっぱい運動



今年度は中西小学校、中西中学校、中垣内自治会、川登自治会が参加し、花苗を植栽していただきました。美しい中西地区を目指しています。

活動車(リース)の導入



なんでもお助け隊で活用するために活動車(リース)を導入し、高齢者のみの世帯等を優先した通院、買い物の送迎サービス等を開始しました。

中西公民館ホームページの制作



ホームページを公開することで、中西地区の状況、なんでもお助け隊、いき活き朝市や各教室の活動内容等をお知らせできるようになりました。

お問い合わせ先

〒698-2141

島根県益田市白上町イ743-2

「なかにし地域づくり協議会」(中西公民館内)

TEL・FAX: (0856) 28-0501 E-mail: csc-nakanishi@city.masuda.lg.jp



島根県益田市東仙道地区

地域づくりのテーマ：助け合えるまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末現在)

■人口 688人 ■世帯数 357世帯 ■高齢化率 50.4%

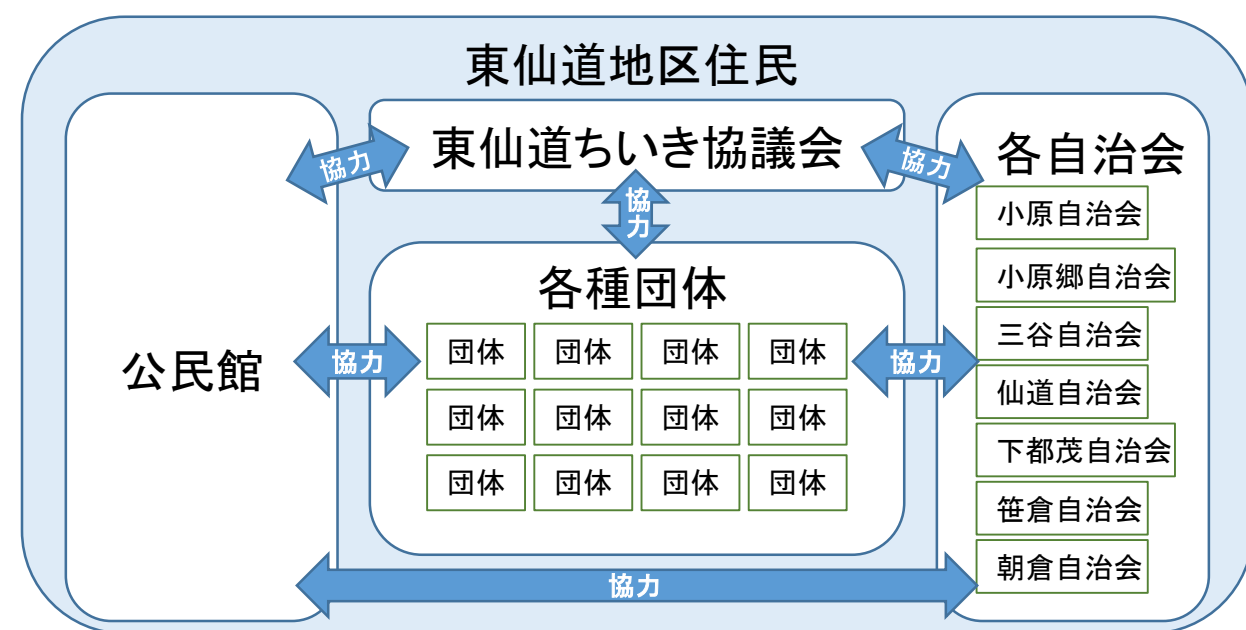
【地区の魅力】

多くの自然と歴史があり、その中でも四ッ山は東仙道を語る上で欠かせない存在です。また、「ひだまりパークみと」にはグラウンド・ゴルフ場、さくらドーム、サッカー場があり、市内外から多くの利用者が訪れています。特産品は柚子やいちご、米、ベビーリーフなどの農産物で、いちごについては、いちご狩りが観光交流につながっています。

【地区の課題】

少しずつ新しい家が建ち、子育て世代の家族が増えていますが、一方で市営住宅等に住む子育て世代の所得が上がるとともに家賃も上がり、地区外への転出を余儀なくされているという現状もあるので、変わらず保育所や小学校の児童減少が課題となっています。また、高齢者の独り暮らしや空き家が目立ってきたほか、担い手不足により除草作業等の生活環境維持が困難になりつつあります。

【団体の組織図】



②実施団体の概要

【団体の名称】

東仙道ちいき協議会

【構成団体、構成員】

仙道自治会 小原郷自治会 小原自治会 三谷自治会
下都茂自治会 朝倉自治会 笹倉自治会
東仙道老人会連合会 東仙道青年団 東仙道婦人会
東仙道小学校PTA 他22団体、14企業

③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

■東仙道お助け隊

平成28年度に発足し、活動を続けています。

令和4年度は、草刈りと木の伐採等合わせて22件の依頼があり、のべ42名の隊員が作業にあたりました。

■ふるさとカレンダー事業

7年目となる今年度は「ドローンで見る東仙道」をテーマに、各地区をドローンで撮影した画像を使って作成しました。

■東仙道寺子屋事業

放課後に小学校の空き教室を利用し、地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るという寺子屋事業が5年目となりましたが、学校の方針も家庭学習を重点におくことが打ち出され、今後、内容も検討していかなくてはならない。

■東仙道花園ライトアップ事業

令和2年度に「まちづくり活動特別補助金」を活用し実施した、彼岸花や、もみじ、桜など、1年を通して東仙道に咲く花や自然等をライトアップする事業を今年度も引き続き実施しました。

【団体長メッセージ】

制限を設けつつとなりますが、ようやく様々な事業ができるようになってまいりました。

コロナ前と全く同じようにはいかない、さらには少子高齢化がますます深刻化する中で、どのように事業を進めていくかが今後の課題になると思います。様々な年代の意見に耳を傾けながら工夫をして取り組んでいきたいと思っています。

東仙道ちいき協議会会長 草野和馬



島根県益田市東仙道地区

⑤こんなことが話し合われています



総会は書面決議で行い、全体会議、各イベントの実行委員会を都度行いました。
特に四ツ山歴史ウォーキングや4年ぶりの開催となる文化祭は、コロナ禍での開催方法について議論されました。
その他「議会報告会」ではちいき協議会委員も参加し、地域住民の参加者と共に意見を交わしました。

⑥こんな地域づくりを行なっています

■互助部会・・・東仙道お助け隊

高齢などの理由によって、草刈りが困難になった方の代わりに草刈りを請け負うのが基本ですが、木の伐採や空き家の草刈りなど多岐にわたっての要望があり、出来る範囲で作業にあたりました。
また、(株)キヌヤさんの協力で行っている「お買い物バスツアー」も好評です。今後もニーズの把握と利用者の拡大に努めていきたいです。

■地域活性化部会・・・ふるさとカレンダープロジェクト、東仙道桜を見る会、四ツ山歴史ウォーキング、運動会、文化祭

「ふるさとカレンダー」は地区の魅力を再発見してもらおうと毎年テーマを変えて続けています。今年度は「ドローンで見る東仙道」をテーマに、各地区をドローンで撮影した画像を使って作成しました。
自分が住んでいる地区に今一度目を向けるきっかけになればと思います。
「東仙道桜を見る会」は、中止しましたが、「美都いちごまつり」に手伝いとして参加しました(令和3年度3月)。令和5年の「東仙道桜を見る会」は、ひだまりパークみとのコース内から夜桜見物をできるよう準備を進めています。
「四ツ山歴史ウォーキング」は開催方法を協議し、コロナ禍ではありましたが無事開催することができました。
「文化祭」は開催方法を協議した上で4年ぶりの開催を目指しています。

■福祉健康部会・・・東仙道寺子屋、グラウンド・ゴルフ大会

放課後に小学校の空き教室を利用し、地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るという寺子屋事業が5年目となりましたが今年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。
今後は、事業自体の見直しと開催方法について協議していきたいです。
「グラウンド・ゴルフ大会」は感染対策を行なったうえで通常通り開催することができました。

■東仙道ちいき協議会・・・神寶山八幡宮のPR

益田市が日本遺産に登録され、東仙道の神寶山八幡宮が構成文化財のひとつに選ばれたことをうけ、のぼり旗を国道から八幡宮への入り口、八幡宮の敷地内と鳥居に作成設置しました。
また、「四ツ山歴史ウォーキング」で、小学生が作成した八幡宮についてのパネルを展示したり、小学生の課外活動に同行するなど積極的に協力し、八幡宮のPR活動をしました。

■東仙道ちいき協議会・・・東仙道花園ライトアップ事業

令和2年度に「まちづくり活動特別補助金」を使ってスタートした、東仙道の自然を中心に四季を通じてライトアップし、地区の景観を良くするほか写真映えスポットとして地区内外へ魅力を発信し、交流人口増加を目指す東仙道花園ライトアップ事業を引き続き行っています。
今年度も9月は彼岸花、10月～11月はもみじ、11月～1月まで神宝山八幡宮の鳥居を昨年度の反省を活かし、ライトの角度や設置位置などの改善、劣化防止に取り組み、LEDソーラーライトでライトアップしました。3月にはひだまりパークみと、三番道路、二か所の桜をライトアップする予定です。

■東仙道ちいき協議会・・・東仙道プロモーション事業

昨年度購入したドローンやアクティブカメラを使って、東仙道の様々な行事の様子や、各地区を上空から撮影し、SNSに動画や画像を投稿したほか、画像を使用して「ふるさとカレンダー」を作成したほか、ドローンで各地区の上空から撮影した動画を編集し、3月の文化祭にて上映、希望があればDVD化も予定しています。



お問い合わせ先

〒698-0212
島根県益田市美都町仙道253-1
東仙道ちいき協議会【事務局】東仙道公民館内
TEL:0856-52-2540 FAX:0856-52-2193
東仙道ちいき協議会Facebook <https://www.facebook.com/higasisendo/>
映え！東仙道Instagram www.instagram.com/higashisendo/



Facebook



Instagram

島根県益田市都茂地区

地域づくりのテーマ:「住みよい都茂、住みたい都茂、住み続けられる都茂」



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末時点)

人口:833人 高齢化率:54.9% 世帯数:450世帯

【地区の魅力】

都茂地区は春の桜、秋の柚子。自然に囲まれた豊かな土地。

人が優しく、治安が良い。旧美都町の中心地であったことから、分庁舎、農協、郵便局、診療所、老人ホーム等があります。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、買い物不安、交通対策、農地の管理、鳥獣被害対策などたくさんの課題があります。

平成26年3月から、都茂地区連合自治会が交通弱者の移動手段を提供する自治会輸送活動に取り組んでいます。

地域で考え、助け合いの中で少しずつ課題解決に向けて取り組んでいます。

②実施団体の概要

【団体の名称】

都茂地域自治組織「ささえ愛 都茂」

【構成団体】

自治会長、企画運営委員、会員

都茂地区連合自治会

自治会

連携

ささえ愛都茂

連携

賛助会員

公民館

各種団体

協力

総会

(定期総会・臨時総会)

① 自治会長

② 企画運営委員

③ 会員

監査会

(監事 2名)

役員会(8名)

会長 1名

副会長(部会長) 3名

副部会長 3名

事務局長 1名

暮らし部会

環境部会

いきいき部会

事務局

会員(都茂地区住民)

ささえ愛都茂～3つの柱

① 暮らしを守る

住んでる人が安心して暮らせる環境をつくれます。

② 生活環境を守る

きれいな環境は、安全な生活、鳥獣対策につながります。

③ 地域の資源を活かし活気を創る

住んでいる人が生きがいを感じ、活気あるまちづくりをします。

③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料:島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

地域自治組織は、①地域の課題や不安を克服し、住みよい地域となるよう活動に取り組む組織。②住んでいる人誰もが活動に参画できる新しい仕組みです。都茂地域自治組織ささえ愛都茂は「住みよい都茂、住みたい都茂、住み続けられる都茂」をつくるを活動の理念として活動をしています。

高齢化が進む中山間地にとって、高齢者にとって暮らしやすい環境はすべての人にとって暮らしやすい環境です。外出支援(自治会輸送)、防災対策(防災マップ)、子供の通学路確保対策(除雪隊)、生活環境の保全対策(お助け隊)、イベント参加を通じた活性化対策等、今後も住んでいる人が笑顔になる活動をしていきたいと思ひます。住んでいる人の笑顔が地域の魅力です。

防災マップ



都茂地区文化祭



お助け隊草刈り



【団体長メッセージ】

この度、前高橋会長の後を受け、会長職を務める事になりました、福田です。

『豚もおだてりゃ…』と言いますが、つつい高い木に登ってしまいました。しかし、てっぺんまで登った以上直ぐには降りる事は出来ませんので、2年間はしっかりと役目を果たす覚悟でおります。

地区内12の自治会長さんを始め、地域自治組織の全会員の皆様の知恵とパワーをお借りし協力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



島根県益田市都茂地区

⑤こんなことが話し合われています



●暮らし部会

・自治会輸送

外出が困難な高齢者等を自宅から地区内の目的地まで送迎します。

・除雪隊

積雪時に児童生徒の通学路の除雪を行い、子どもの安全な通学を守るための活動。今年は2回除雪しました。

・防災マップ作成

災害時の連絡体制および避難経路を記した自治会別の防災マップを念入りに確認し防災訓練実行に向けて自治会と協力し計画を立てています。



●環境部会

お助け隊

R2年度に立ち上げ地域の市道や生活道、河川などの草刈り等を支援しています。去年は中学校の剪定作業を行いました。



●いきいき部会

ふれあいホールみとで第44回都茂地区文化祭がありました。今年は3年ぶりに飲食の部も開催されるということで、その飲食の部で食べれるお食事券が当たる抽選会を企画しました。

⑥こんな地域づくりを行なっています



交通弱者対策

都茂地区連合自治会輸送「ささえ愛」号

都茂地区連合自治会では平成26年3月10日から地域の人たちの外出を支援する自治会輸送活動を行っており、年間700人を超える人に利用いただき、「とても助かっている」と喜んでいただいています。

この業務は、令和2年4月より都茂地域自治組織 暮らし部会が行っていますが、今年で9年目となり、地域の高齢者等の外出手段として無くてはならない活動となっています。

全体的に人口減少、高齢化により運転手の減少が予想されるため、引き続き運転手の確保を図ります。

○利用実績

	運行日数	利用人数
R3年計	221日	854人
R4年計	171日	707人
		(R5.1月末現在)

買い物弱者対策

(JALしまね生活センターラーバンの運営)

昨年8月、地域の買い物の場「生活センターラーバン」を運営していた事業者が採算の面からラーバンの運営から手を引くことになり、何とか地域の買い物の場を残そうと、9月からラーバンの運営を始めました。ラーバンが継続されると知って地域の人、特に交通の便を持たない高齢者の方々には喜んでいただきました。

必要経費の大半を占める人件費等を圧縮し経営の安定を図りましたが、経営状況は厳しく3月末で閉店することとしました。

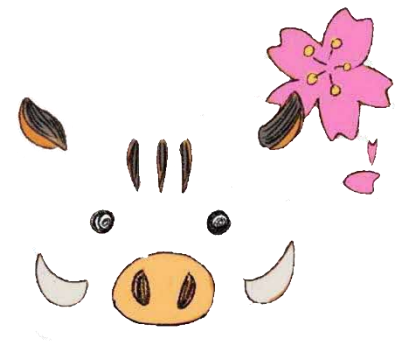
高齢化が進む中山間地にとって買い物弱者対策は大きな課題であり、今後は別の方法で買い物弱者対策に取り組んでいくこととしています。

ささえ愛都茂ではコミュニティ助成事業を利用し、アルミワイドテント6張りと三方幕6枚を新調しました。

益田市役所美都分庁舎で保管されている現在のテントと比較すると、やや大きく重量は約半分となります。ささえ愛都茂の備品として管理運営規約を作成し、各種のイベント等で大活躍しています。

お問い合わせ先

〒698-0203 益田市美都町都茂
地域自治組織 ささえ愛都茂
【事務局】YショップJALしまねラーバン
TEL・FAX
0856-52-3649



島根県益田市二川地区

地域づくりのテーマ： 自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川



①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

人口170人 高齢化率61.2% 世帯数92世帯

【地区の魅力】

美都温泉、道の駅による集客に加えて、柴犬の聖地として新しい人の流れができつつあります。令和5年度からは宿泊交流センターの運営が始まり、人をとどめてつなげる拠点として活用していきます。

【地区の課題】

高齢化により地域で受け継がれてきた生活の知恵が引き継がれることなく消滅しつつあります。また、地域行事に関わる人材不足も深刻で、関係人口の創出が急務です。

②実施団体の概要

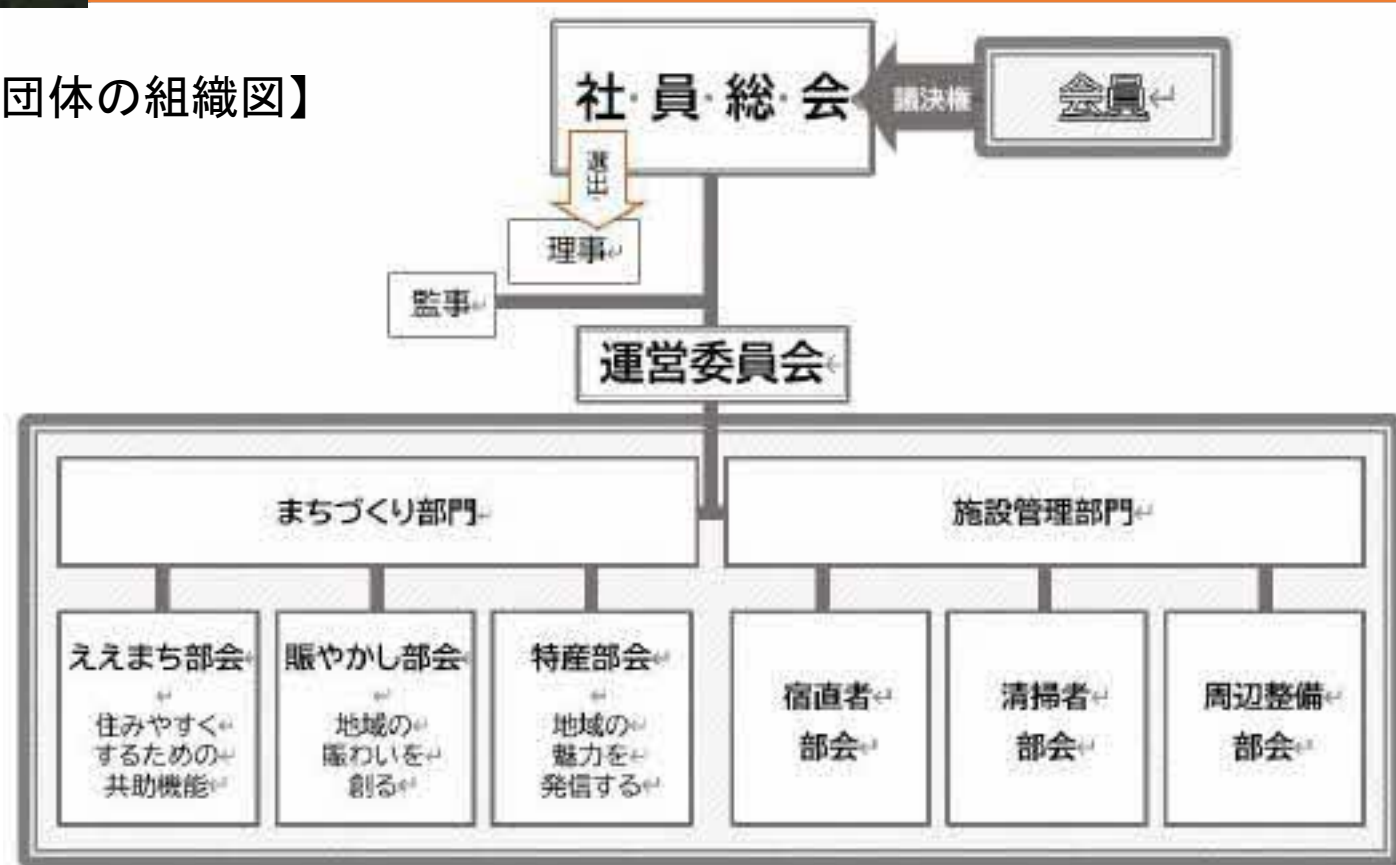
【団体の名称】

一般社団法人 めくもりの里二川

【構成団体、構成員】

自治会
婦人会
双寿会(老人クラブ)
(株)エイト
二川やるき人間の会
営農組合「一心田助」
蓬の会(加工グループ)
公民館運営委員
地区住民

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

①住民の住みやすさ

買い物支援
外出の機会創出
困りごと相談

②地域の賑わい

温泉モーニング
イベントでの出店販売

③特産

地域にあるものを活かした体験作り
柴犬の里の整備



【団体長メッセージ】

来年度より運営する宿泊交流センターは、二川地区にもたらすメリットだけでなく、市内全域の交流や関係人口が増えるための施設として活用していきます。地域へのご協力をお願いとともに、近隣のみなさまにもご利用と、活用方法のご提案をお待ちしております。

島根県益田市二川地区

⑤こんなことが話し合われています



【運営方法の協議】
宿泊交流センターと公民館の複合施設となる「ぬくもりの里」の具体的な運営のため、組織を一般社団法人化し、地域の一人ひとりが意見が述べられる会員・費制度と決めました。



【地産地消に向けて】
宿泊者の自炊が増えるよう、島根県立大学看護栄養学部の方と地元食材を使った食事メニューを考えています。



【関係団体と施設活用について】
地域自治組織の役割のひとつである分野横断の連携。美都森林の農業分野を生かした体験、道の駅の広報協力、美都温泉や食堂の利用、グリーンひだまり利用者とのつながりができました。



⑥こんな地域づくりを行なっています



【団体とコラボした魅力的な体験】

地域の魅力の再発見と発信として行っていた体験事業を再開。アウトドア意識の高揚や感染対策として、うずめ飯と羽釜炊飯の屋外調理を行いました。

よもぎのおやきを作る「蓬の会」とコラボした、うずめ飯作り体験を開催しました。

美都森林で所有される柚子畑での収穫体験の後、地元でゆずみそを作る人から習う体験を行いました。



【うずめ飯をとことん活用】



地域自治組織の立ち上げ以来継続している、美都温泉でのモーニング。月一度の交流の場として地域内外の人に定着してきました。ポイントカードの発行による美都温泉入浴も好評です。

今年度は道の駅サンエイト美都のイベントでも出店できました。

スタンプラリーの設置

美都温泉・道の駅・双川峡・石号記念館を巡ることで、ポストカードを作ることができます。



【周遊効果】

新しい地域資源として育てている柴犬の祖犬「石号」の存在。NHKや旅番組、柴犬専門誌などで取り上げられるたび石号記念館への来館者が増えています。また、長期立ち入ることができなかった双川峡が復旧しました。その来訪者が温泉などの施設利用へとつながるよう、またその逆も、限られた地域の魅力をつなぐ事業を行っています。

双川峡ウォーク



のぼりの設置

石号キャラクター

アレンジバージョンの制作

- ・萩石見空港
- ・美都温泉
- ・道の駅
- ・郵便局
- ・石号記念館



お問い合わせ先

〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口386-3
益田市二川公民館内 一般社団法人 ぬくもりの里二川 事務局
TEL: 0856-52-2241

ホームページ: <http://nukumori-sato.main.jp/> メールアドレス: nukumori-sato@maro-v.jp

島根県益田市匹見上地区

地域づくりのテーマ：自然とともに澄み(住み)続けたい郷づくり



ピンバッチ作成
イベント参加の記念品として
～おとなの遠足バージョン～

①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

◎人口：589人◎高齢化率：63.5%◎世帯数：380世帯

面積は、154.12km²、標高365m、4つの連合自治会、自治会数23地区です。商店は匹見小中学校周辺に4店舗あります（農協関係1店舗、地元商店3店舗）。

【地区の魅力】

西中国山地国定公園の裏匹見峡をはじめとした豊かな自然、1000mを超える山々、綺麗で澄んだ川の清流、その清流で育つ鮎、映える紅葉、広い夜空に光る満天の星、縄文時代を中心とした数多くの遺跡があります。

わさびが名産で市外からの人気も高く、保育所園児から中学生まで葵谷の清掃、栽培、生産と山葵について学習しています。

【地区の課題】

・人口減少・高齢化・交通弱者の方の買い物、通院支援・担い手不足・鳥獣被害対策・空き家、匹見中学校、耕作放棄地の活用。

②実施団体の概要

【団体の名称】

匹見上 清流の郷(R1. 9. 27設立)

【構成団体、構成員】

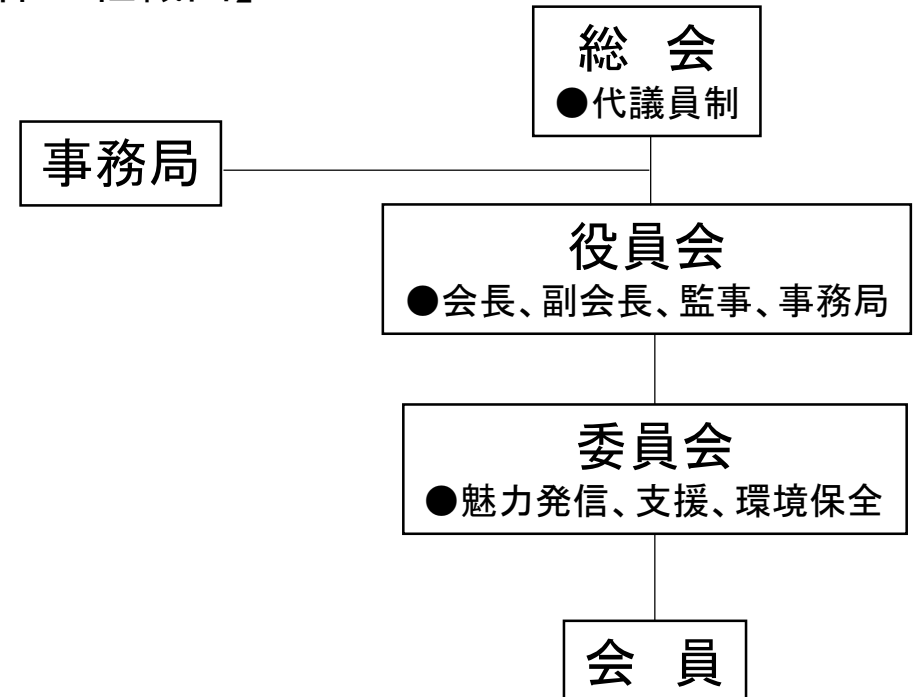
◎連合自治会

◎自治会

◎各種団体

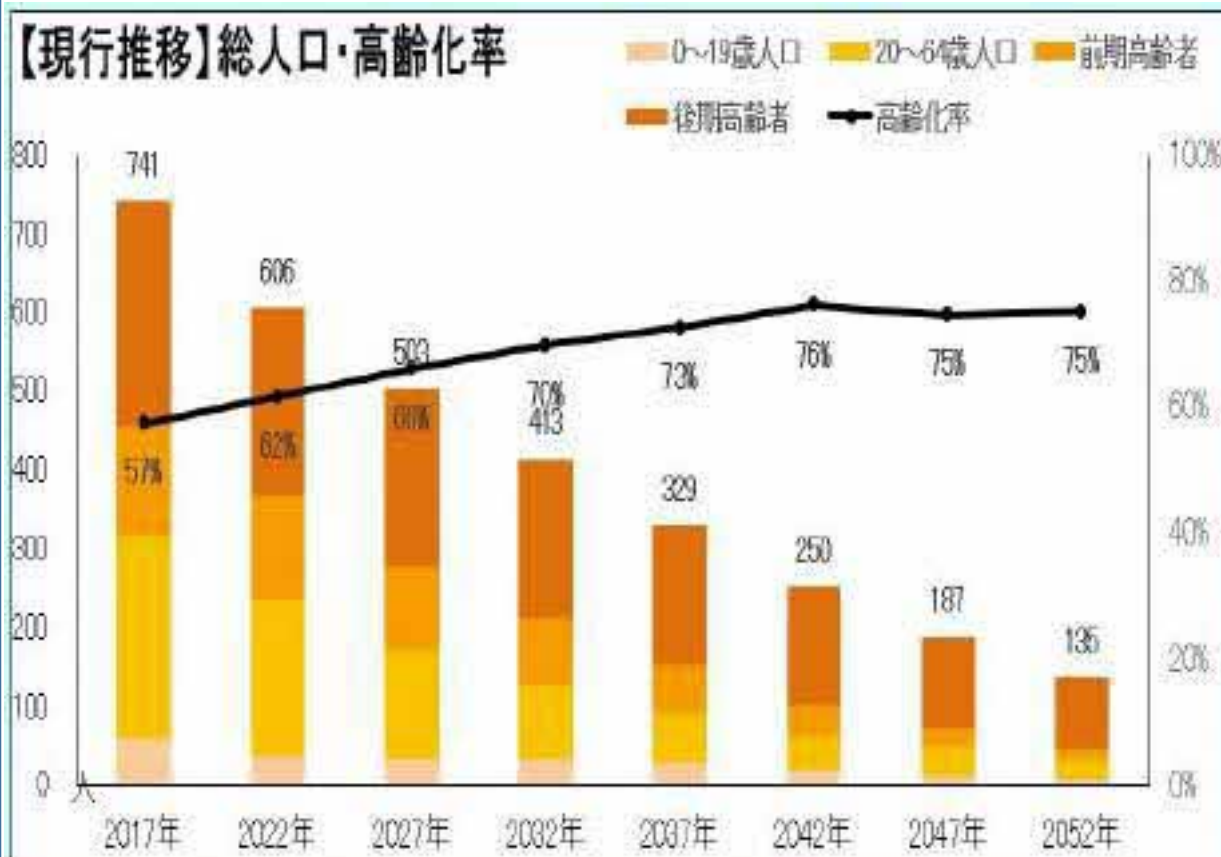
- ・萩の会
- ・みのり会
- ・まとば加工所
- ・萬葉乃古衣
- ・メイズ
- ・ウッドベッカー
- ・匹見神楽社中
- ・三葛神楽保持社会
- ・猟友会
- ・ひきみ森の器工芸組合
- ・人権、同和教育推進協議会
- ・青少年健全育成協議会
- ・安全推進委員協議会
- ・少年補導員
- ・スポーツ推進員
- ・三葛地区水稻管理協業グループ

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆豊かな自然で学び・遊び・食べる☆

☆山葵………保育園児から中学生まで、山葵谷見学・植え付け・清掃・収穫まで一貫して学び、小中学生は、山葵を使ったレシピを自分達で考えて収穫祭も行います。

☆きのこ狩り…今年も多くの参加をいただき、沢山収穫がありました。講師のご協力をいただきながら、食べられるもの・食べられないものを選別し、きのこ汁にして食べました。手作りプリンや山葵の物産販売もありました。

☆川遊び、鮎…公民館の活動で、小中学生はカヌーの体験や鮎のつかみ取り・串焼きの体験をします。保育園児も鮎を頭から尻尾まで食べます。保育園児は4月に稚鮎の放流を行います。



【団体長メッセージ】

設立から早いもので4年が経ちました。今年度は魅力発信部会において、匹見上清流の郷主催の新たな活動に取り組みました。地域へのたより、Facebook等情報発信活動のお陰もあり、少しずつではありますが匹見上清流の郷の取り組みが浸透しつつあります。これからも地域と一緒に成長していきたいと思っています。

島根県益田市匹見上地区

⑤こんなことが話し合われています。

【委員会：全体】

“少ない人数での方が協議しやすいのではないか”という声のもと、委員を3人ずつで分かれそれぞれ協議することとしました。ですが、少人数なのでグループだけで全て行うのではなく、グループでしっかり話し合い、きちんと情報共有し、イベント当日はみんなでできることから助け合って準備、開催するようにしました。“まずは自分達が楽しみたい”“匹見地区の方に構成員として加わってもらうためには・・・”。今年度いくつかイベントを開催し、認知度は広がっているように思いますが、次年度は“委員とは何なの？”と思っている方に向けた取り組みをしたいです。



【魅力発信】

“星空を楽しむ会”“おとなの遠足”を開催しました。どちらも今年度初めての取り組みとして、打ち合わせ、下見等何度も行いました。自然相手のイベントとしても初めてなので、星空を楽しむ会は予定していた時期をずらし、9月に予備日を設け開催しました。第1希望日は天候に恵まれず第2希望日の9月30日に開催しました(参加者：24名)おとなの遠足は、紅葉イベントとして開催したいと協議し、当日は悪天候にならず無事にゴールできました。こちらも参加者から喜びの声を頂くことができました。(参加者：10名)



【環境保全】

令和3年度3月12日に予定していた“匹見上地区 鳥獣被害対策研修会”は新型コロナウイルス感染拡大防止で延期とし、6月25日に開催しました。江津市波積町上北集落から講師をお呼びし、猿の追い払いに成功した地区の取り組みを講演いただきました。諦めなければ匹見上でも成功できるということを知ってもらいたかったので、開催できて良かったです。(参加者：8名)今年度末の3月4日には、自治会単位の鳥獣被害対策勉強会を実践形式で開催予定としており煙火花火の発砲訓練も予定しています。

研修会より・・・猿は赤い色を認知しやすく、“赤い帽子を被って花火を打つと、赤い帽子を被った人間は怖い”と覚えさせることができるということで9月11日の煙火花火講習会には赤い帽子を講習者全員に配布しました。

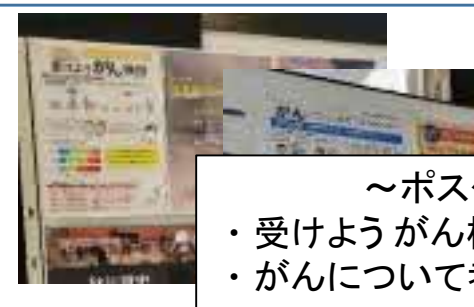


【支援】

“匹見峡温泉を核とした健康イベントを開催したい”と今年度初めて取り組みました。何度も協議を重ね、10月26日“第1回 匹見上 清流の郷 健康教室～認知機能低下を予防する体操～”を開催しました。益田運動公園から講師をお招きし、体操の他に、無料で利用できるレクリエーションスポーツの“モルック・囲碁ボール”“ユニバーサルスポーツのボッチャ”の紹介をいただき、実際に体験もさせてもらいました。ゲームがとても楽しそうでした。参加特典として匹見峡温泉施設利用券を用意し、沢山の方が利用されました。(参加者：22名)



⑥こんな地域づくりを行なっています。



～ポスター作製～
・受けようがん検診
・がんについて考えてみませんか？



健康講演会
中村文春院長

花いっぱい運動



地域まるごと図書館



放課後ホカホカタイム



防災食を体験 ...山菜おこわと芋煮



消火訓練



↑
←交通安全教室

【地域：健康(匹見上健康づくりの会)】

○健康講演会.....元気に老いるために 中村医院長
○啓発活動.....癌予防ポスター作成
○百歳体操.....毎週金曜日、平均15人
○グラウンドゴルフ大会...春33名、秋35名
○ユニカル大会.....2月18日開催予定

【地域：高齢者と子どもたちの交流、安全】

○花いっぱい運動.....公民館活動で保育所園児・小中学生が地域住民と一緒に植栽します。
○放課後ホカホカタイム.....小学生のバス待ちの時間を利用し、地域の方と交流する時間です。(小学1～4年生対象)
○地域まるごと図書館... 地域の方も利用可能で、放課後ホカホカタイムの活動場所になっています。
○交通安全教室..... 公民館活動で益田署の交通安全課を招いて交通安全教室を開催。高齢者との交流も兼ねています。
○消火訓練..... 公民館活動で保育所園児、小学生が体験しました。
○防災食を体験..... 公民館活動で防災食を食べました。ユニカル大会でも防災食を食べる予定としています。

お問い合わせ先

【匹見上 清流の郷 事務局】

〒698-1211 益田市匹見町イ674 匹見上公民館内

電話：0856-56-1144 FAX：0856-56-0932

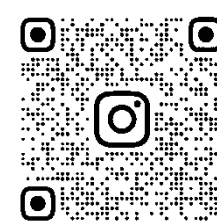
【匹見上公民館：E-mail】csc-hikimikami@city.masuda.lg.jp

【匹見上 清流の郷：E-mail】Seiryu_no_Sato@outlook.jp

【Instagram】https://www.instagram.com/seiryu_no_sato?utm_source=qr

【フェイスブック】<https://www.facebook.com/hikimikamijiichi>

【Instagram】【フェイスブック】



島根県益田市匹見下地区

地域づくりのテーマ: ささえ愛 笑顔がつくるいいの里



①地区の概要

【地区の現況】

人口、高齢化率、世帯数(令和5年1月末時点)
人口215人 高齢化率69.8% 世帯数136世帯

【地区の魅力】

匹見川、中国山地の自然と豊かな恵み
そこに暮らす人々のやさしさと支えあい

【地区の課題】

少子高齢化による過疎
高齢者の移動方法の確保と買い物支援
地域住民の健康づくりと生きがい対策、生活不安の解消、
集落の運営、担い手の確保、空き家対策、農地の維持管理
など課題は山積み。

②実施団体の概要

【団体の名称】

匹見下いいの里づくり協議会

【設立年月日】

平成28年4月24日

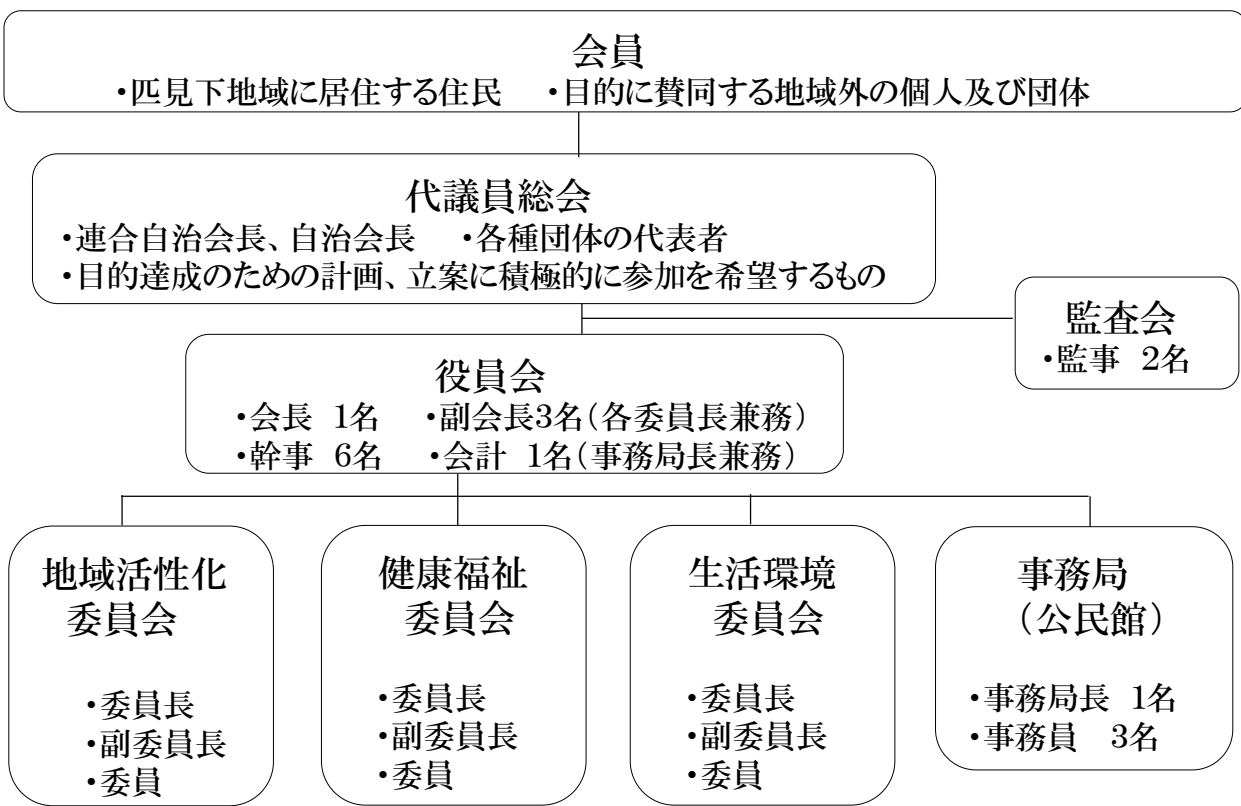
【構成団体、構成員】

- ・各連合自治会(4) 澄川寿会、内谷寿会
- ・各自治会(17) 関係団体(17)
- ・匹見下猟友会 賛助会員(個人)
- ・高齢者サロン(3)

◎構成44団体の代表者や個人会員を代議員とし、この代議員で3つの委員会を作り、協議会の事業に取り組む。

- ・「地域活性化委員会」
- ・「健康福祉委員会」
- ・「生活環境委員会」

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



④地域の魅力化に向けた取組

- ・地域の子供たちの成長と、地域住民のうるおいづくり
「いいの里っ子塾」の開催 ※コロナ禍で中止
 - ・地域住民の健康と交流の場づくり
100歳体操やグラウンド・ゴルフの定期開催。年2回の体力測定や専門家による健康講演会の実施。
 - ・人とのつながりを大切に、思いやる心を育む地区のイベント
「地区民運動会」→レクリエーション大会として開催
 - ・地域資源を利用した世代間交流や他地域の団体との交流
「とちの実交流会」「明誠高校キャリアサポート」など
 - ・鳥獣被害対策の実証実験
「サル侵入防止用電牧柵」設置、地区をあげての「動物駆除用花火の追い払い実験」
 - ・防災対策として「消火器、火災警報器、告知放送端末」点検
 - ・匹見町(匹見上、匹見下、道川)3地区と協力した取り組み
「健康フェスティバル」「産業文化祭」「各種講演の共催」など
- ※コロナ禍で多くの事業や計画が中止になったが、中止により人づきあいが疎遠になることが懸念される



【団体長メッセージ】いいの里づくり協議会 大賀明会長

コロナ禍の3年で、人々の生活様式が変わり、私たち高齢者をめぐる環境も大きく変化しました。感染を恐れて人との関わりが減少傾向にありました。しかし、今年度は感染対策を取りながら行事を再開することが増えました。地域の皆さんも声を掛け合い参加し、笑顔が戻ってきたのは嬉しいことです。皆さんとともに元気あふれる地域づくりを目指していきたいと思っております！

島根県益田市匹見下地区

⑤こんなことが話し合われています



いいの里づくり協議会 定期総会
事業報告、収支報告、事業計画、収支予算などが質疑応答・承認される中、伝統文化の継承についても話し合われた。「田植え囃子」の復活・継承について活性化委員会で検討していくことを確認。役員改選・・・選考委員会の結果、「匹見下いいの里づくり協議会」会長に「大賀 明さん」を選任。地域活性化委員会、健康福祉委員会、生活環境委員会の3つの委員会も、委員長、副委員を選任。

地域活性化委員会
生活のうるおいづくり支援・・・県内の美術館・博物館・映画館などに各自で行った場合、500円を補助。
いいの里っ子塾・・・U・Iターン者との交流会と合同で行うこととしたが12月の開催直前にコロナ禍で中止とした。
おかえりなさい旗・・・GW、盆、正月に帰省者歓迎の旗を立てているが、コロナ禍により、今年度は正月のみ実施。
匹見下ふるさと祭り・・・11月開催予定もコロナ禍で中止。

健康福祉委員会
地区民運動会・・・レクリエーション大会とし、より多くの住民の参加を促す。
とちの実交流会・・・例年通りの開催予定とし、地区民と準備を進める。
ふれあいボランティア訪問・・・「ふれあいの園」ボランティア訪問を10月から再開。
いきいき100歳体操・・・会館、広瀬、石谷で開催。
グラウンド・ゴルフ大会・・・ナイター5回広瀬1回実施。
健康講演会と神楽鑑賞を実施。

生活環境委員会
動物駆除花火講習会・・・9月開催。
消火器・火災報知器・告知放送端末の点検・・・広瀬地区にて10月開催。
地区の美化活動への支援・・・実施地区(団体)への費用支援。
買い物支援・・・生協の利用拡大について検討。
不用品縁結び事業・・・利用が低調。どうすれば利用してもらえるか検討中。

⑥こんな地域づくりを行なっています



地域活性化委員会
明誠高校キャリアサポート活動として、100歳体操や、とちの実交流会に参加し地元の方と交流の場を持った。
コロナ禍により、匹見下ふるさと祭り、高槻サマーフレンドシップ、いいの里っ子塾は中止。川崎市ふれあいサマーキャンプは匹見下での受け入れが中止となった。「紅葉ロードレース」の代わりに「匹見健康フェスティバル」が開催され、匹見下地区としてグラウンドゴルフの運営などに携わった。
伝統文化の継承の支援として巫女舞を支援。また「田植え囃子」については継続して復活を検討中。



健康福祉委員会
いきいき100歳体操・・・住民の参加意識、移動負担の軽減などを考慮し、会館だけでなく、広瀬、石谷の2地域においても開催。月に1度は、地域の方の顔を拝見するとともに、体操後は“お茶の時間”を設けて、様々な話を通してふれあう時間としている。
レクリエーション大会・・・これまで地区民運動会として行ってきたが、より多くの住民に参加いただけるよう、モルックやボッチャといったNewスポーツ、輪投げ、玉入れなどの軽スポーツ、グラウンドゴルフを実施。園児からお爺ちゃんお婆ちゃんの合わせて55名が参加。



生活環境委員会
昨年度に続き「消火器・火災報知器・告知放送端末の点検」を行いました。これは家庭にある防災機器等の電池切れや、期限切れなどを点検し、いざという時に使えるようにするものです。今年度は広瀬地区で実施。独居世帯を中心に回り、設備の点検とともに、近況、困りごとなどを聞いて回りました。こうした、声掛けは大事なことで改めて感じました。交通弱者への対応として、石見交通バス、福祉タクシー、やまびこバスの利用促進と体験会の実施などについて住民アンケートを実施。現在、集計を終え、対策を検討していく段階。

お問い合わせ先

☆匹見下いいの里づくり協議会☆

〒 698-1221 益田市匹見町イ327 (匹見下公民館内)

☎ 0856-56-0910 ☎ Fax 0856-56-0912

島根県益田市道川地区

地域づくりのテーマ：輝け笑顔！ 深まれ絆！ 行くぞ道川！ ～出会い ふれあい 助け合い～ 笑顔がつなぐ明日の道川



①地区の概要

【地区の現況】

人口：108人 高齢化率：60.2% 世帯数：60世帯
(令和5年1月末時点)

【地区の魅力】

歴史、文化を伝える「旧割元庄屋美濃地屋敷」を地域のシンボルとし「道の駅匹見峡」「産直市出合いの里」を中心に地域の活性化を図っています。「奥匹見峡」「表匹見峡」といった景勝地を有し、四季の風情を味わうことができる自然豊かな地域で育まれた、人と人との様々なつながりが魅力です。

【地区の課題】

冬場の自然環境の厳しさや高齢化による生産基盤の脆弱、除雪の負担、移動手段の困窮、医療介護の不安等多々あります。

②地域自治組織の概要

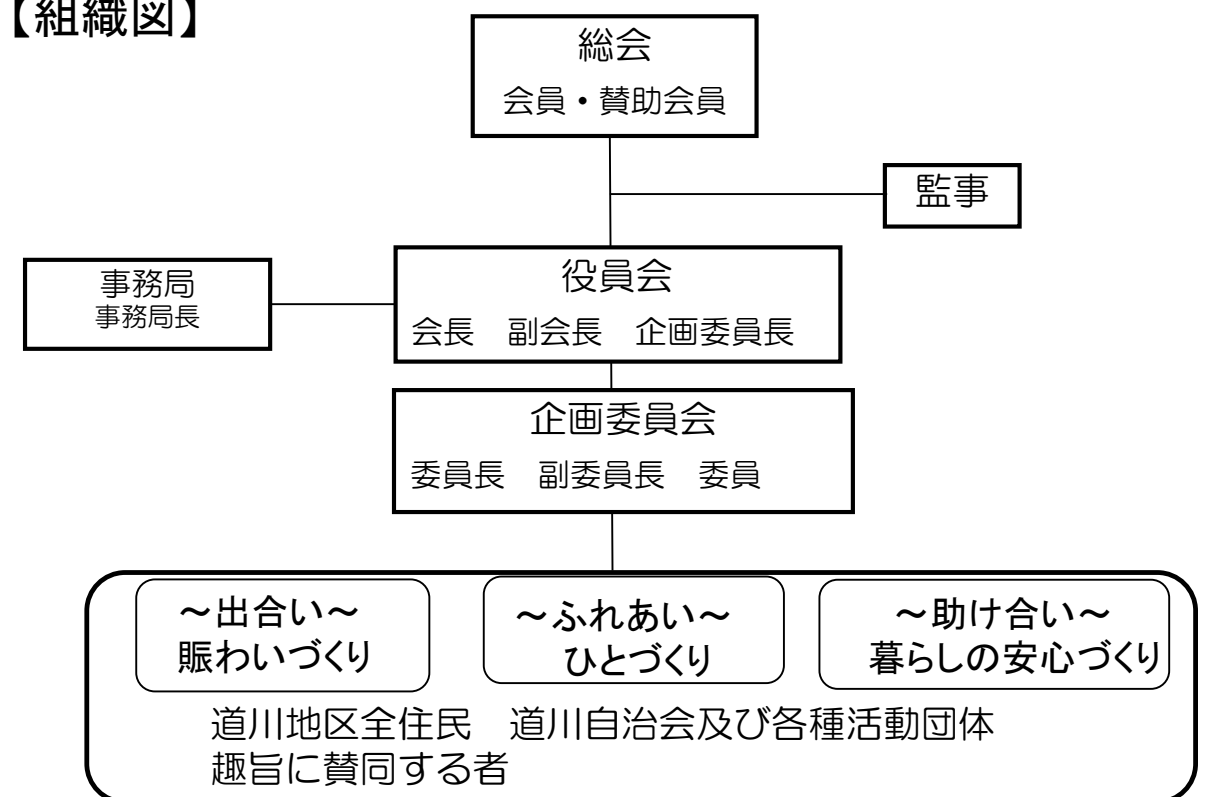
【組織の名称】

- ◆ 「道川地域づくりの会」

【会員】

- ◆ 道川地区に居住する全住民
- ◆ 道川自治会
- ◆ 地域で活動する各種団体及びグループ
- ◆ 趣旨に賛同する者

【組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

恵まれた豊かな自然や特色を活かしながら、「住む人」「来る人」の出会いにより、地域の賑わいを創出し、お互いの助け合いやふれあいをおして、いきいきと安心して暮らすことが出来る地域を目指します。

～目標を達成するための3つの取り組み～

◆ ～出会い～ 賑わいづくり...

- ・人が集まる機会を創る活動
- ・地域の宝を活かす活動
- ・里山の景観を活かす活動

◆ ～ふれあい～ひとづくり...

- ・歴史文化をつなぐ活動
- ・地域のつながりを育む活動
- ・ひとりひとりの個性を育む活動

◆ ～助け合い～暮らしの安心づくり...

- ・暮らしを守る活動
- ・生活環境を守る活動



【道川地域づくりの会 会長メッセージ】

来年度より、組織の運営体制を強化し、高齢化や人口減少に対応していきたいと思いをします。

また、地域内外の多様な団体、企業等と協力し、地域振興に取り組んでいきたいと考えています。

島根県益田市道川地区

⑤こんなことが話し合われています



■4月 「道川地域づくりの会」総会、年間活動計画、予算の承認

★ 主な話し合いの内容

年間を通して組織の運営体制強化について話し合った
賑わいづくり

○地域の産物を活用して、歴史・文化を発信する魅力アップ活動について

○魅力ある景観、整備活動について

里山保全及び川辺の広場維持、管理等

自然と調和した地区のPRと分散型集客について

暮らしの安心づくり

○慢性的な人手不足がもたらす地域課題について

○安心、安全、支え合いの仕組みづくりについて

ひとづくり

○地域内交流(世代間交流)事業について

○歴史勉強会等について



⑥こんな地域づくりを行なっています

～出会い～ 賑わいづくり

美濃地屋敷前ひまわり畑



6月 古代小豆種まき

「歴史・文化を活かした地域づくり」

昨年度より、美濃地屋敷の屋根の葺き替えが行われています。地域のシンボルとしての利活用に取り組んでいます。また、今年度より、地域の歴史を深掘りし、小豆の原種と言われる種をまき、栽培、収穫、試食の体験イベントや、販売を行いました。

～ふれあい～ ひとづくり

健康づくり



歴史勉強会

【学び合いの場】に積極参加

地域の絆を深め、各世代を交えて学び合う地域内交流事業は、今年度もすべて中止としました。健康づくり教室や各地区へ出かけての介護予防事業、お楽しみ教室やミニ交流活動など、公民館活動への積極的な参加を呼び掛けています。歴史講座も開催しています。

～助け合い～ 暮らしの安心づくり

生活安全教室



年1回、各集落に出かけて、益田警察署より、安心安全な暮らしを守る話をしてもらっています。隣近所で、見守り、声を掛け合うつながりを強固にする取り組みを行っています。

【災害対策グッズの配布】



避難訓練は中止にしましたが、防災意識の持続、向上に取り組んでいます。今年は、冬の「もしも」に備え、注意喚起と防災グッズを配布しました。

お問い合わせ先

〒698-1201

島根県益田市匹見町道川イ133-1 清流会館

道川地域づくりの会(事務局:益田市道川公民館内)

TEL:0856-58-0001 FAX:0856-58-0002

<http://michikawa.info>

発 行 令和5年2月

発行元 益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

TEL 0856-31-0600

FAX 0856-23-7708

E-Mail : renkei@city.masuda.lg.jp